

mitsubishi

三菱ワイド液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT233WX-3D シリーズ

(AX021)

取扱説明書



HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」と「ユーティリティーディスク(CD)」は、「保証書」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6, 59参照
- この取扱説明書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P5 安全のために必ずお守りください

P9 使用上のお願い

P11 各部のはたらき

P15 使用の準備

P28 3D 映像を見る

P31 機能

P50 困ったとき

P57 付録

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内
ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。(画面の「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。)

www.pc-eco.jp

ご使用の前に

ご使用の前に	3
何ができるの？	3
付属品の確認	4
本書の見かた	4

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください	5
-----------------	---

使用上のお願い

使用上のお願い	9
ディスプレイの上手な使い方	9

各部のはたらき

各部のはたらき	11
本体正面	11
本体背面／側面	12
リモコン	13
リモコンの取り扱い	14

使用の準備

使用の準備	15
使用するための流れ	15
[準備 1] スタンドを組立てる	16
ベーススタンドを取り付ける	16
[準備 2] 画面の高さを調節する	16
お好みの画面高さにスタンドを取り付ける	16
[準備 3] ディスプレイとコンピューター (PC) (以下コンピューターと PC は同義語として使用する) を接続する	17
1 台のコンピューターを接続	18
2 台のコンピューターを接続	18
3 台～ 4 台のコンピューターを接続	19
コンピューターのオーディオ出力端子と接続	20
[準備 4] ディスプレイと AV 機器を 接続する	20
HDMI 出力に対応した AV 機器に接続するとき	20
コンポーネント映像出力 (D 端子出力) に対応した AV 機器に接続するとき	21
[準備 5] ヘッドホンを接続する	21
[準備 6] 電源コードを本機に接続する	22
[準備 7] ケーブルをまとめる	22

[準備 8] 電源プラグのアースリード線を 接続する	22
[準備 9] 電源プラグを AC100 V 電源 コンセントに接続する	22
[準備 10] 設置する	23
[準備 11] 画面の角度を調節する	23
[準備 12] 画面調節	24
自動調節をする (D-SUB 入力するとき)	25
[準備 13] Windows® セットアップ情報	26
[準備 14] 省エネ設定をする	27
ECO 設定の変更	27
ECO メーターの表示	27

3D 映像を見る

3D 映像を見る	28
3D メガネについて	28
3D 映像を視聴する	28
通常映像を 3D のように視聴する	30
3D 映像の見えかたを調節する	30

機能

機能	31
OSD 画面の構成	31
OSD の基本操作	32
グループの構成	33
OSD 機能一覧	34
工場プリセットタイミング (PC 信号)	48
その他の機能について	49

困ったとき

困ったとき	50
故障かな? と思ったら	50
本機を廃棄するには	55
保証とアフターサービス	56
個人情報の取り扱い	56

付録

付録	57
再梱包するとき	57
市販のアームを取り付けるとき	58
用語解説	60
仕様	62
さくいん	63

何ができるの？

3D で迫力の映像

さまざまな 3D 映像フォーマットに対応 → P28

HDMI 1.4 にも対応し、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム、ラインバイラインといった多彩な 3D 映像フォーマットに対応。3D 映画やゲームをはじめ、さまざまな 3D コンテンツを迫力ある映像で楽しむことができます。

2D → 3D 変換 → P30

通常の映像を 3D メガネを使って立体的な映像で擬似的に視聴することができます。

3D 奥行き調節 → P30

3D 映像の奥行き感を切替えて見やすくすることができます。

L ⇄ R 切替 → P30

3D 映像の左右と 3D メガネの左右レンズが合っていない時に、3D 映像の左右を反転させて正しく表示します。

3D メガネ付属 → P4, P28

専用 3D メガネを付属。約 20g という軽さで 3D 視聴も快適です。

動画、映像クッキリ、色ハッキリ

超解像（画像変換）技術 → P35, P42

超解像が「ギガクリア・エンジン II」となってさらに進化。超解像設定により、静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換することに加え、圧縮された画像に見えるブロックノイズを低減するブロックノイズリダクション機能、明るい部分と暗い部分が混在する画像でもコントラスト感を改善するエリアコントラスト機能、肌色部分を検出し、検出部分の超解像効果を抑えることで人肌をなめらかに表現する肌色検出機能を装備しています。さらに、入力される映像の解像度を判別し、これらの 4 つの機能の効果を解像度に応じて適用する解像度判別機能も搭載しています。

コンピューターの画面で作業しながらビデオ画面を視聴したい

2 画面表示機能 → P41

親画面の中に子画面を表示する 2 画面表示機能により、コンピューター画面の中にビデオ画面を表示したり、ビデオ画面の中にコンピューター画面を表示したりすることができます。DVI-D 入力と HDMI 入力の組み合わせも可能です。（HDMI1 入力と HDMI2 入力の組み合わせでは 2 画面表示機能は使用できません。）子画面のみに超解像技術を適用させることも可能です。

ギガクリア・ウインドウ

付属の専用ソフトを使用することで、PC 画面上の任意の場所を選択し、その場所のみに超解像技術や高画質技術を適用することが可能です。

コンテンツに合った適切な画質を簡単に設定

DV MODE (Dynamic Visual MODE) → P34

ゲーム、ネット、映画、写真など、表示する内容に合わせた適切な画質を 8 つのモードからお選びいただけます。リモコン操作で、使わないモードをスキップすることができます。

リモコンによる簡単操作

リモコン付属 → P13, P14

付属のリモコンでスイッチ操作が容易になりました。

多彩な入力端子を装備

< PC 接続 > → P12, P17

ミニ D-SUB15 ピンコネクタ（アナログ接続）、DVI-D コネクタ（デジタル接続）、HDMI コネクタ（デジタル接続）、および 1 系統のミニジャック（音声接続）を装備しています。

< AV 接続 >

HDMI 入力端子 x 2 装備 → P12, P20

2 台の AV 機器を市販の HDMI ケーブルで接続することができます。

映像入力端子（D5 端子）を装備 → P12, P21

AV 機器の D 端子出力を市販の D 端子ケーブルで接続すると、AV タイミングの映像信号を表示することができます。

携帯用ゲーム機を画面フル表示で楽しみたい

ポータブル機能 → P38

アスペクト比設定を「ポータブル」とすることで、携帯用ゲーム機の映像を画面フルで表示することができます。

精緻な階調表現力を生かした、高精度なガンマ補正

10 ビットガンマ機能 → P60

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

省エネで節約

ECO Professional (ECO PROF.) 機能 → P27, P44


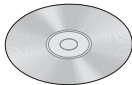






ECO 設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECO メーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

パワーマネージメント機能 → P49

スリープモードおよびオフモード時の待機電力は、1 W 以下です。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
 万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> セットアップガイド 	<input type="checkbox"/> ユーティリティディスク (取扱説明書、テストパターン、ギガクリア・ウィンドウソフト) 	<input type="checkbox"/> 電源コード AC100V専用  本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。	<input type="checkbox"/> オーディオケーブル 	<input type="checkbox"/> リモコン/ 単4形乾電池2本 
信号ケーブル <input type="checkbox"/> DVI-D-DVI-D (デジタル接続用)  <input type="checkbox"/> ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピン (アナログ接続用) 		<input type="checkbox"/> 3Dメガネ 		<input type="checkbox"/> 保証書 (梱包箱に貼り付けてあります。)

本書の見かた

本書の表記のしかた

- お願い** : 取扱い上、特に守っていただきたい内容
- お知らせ** : 取扱い上、参考にしていただきたい内容
- PXX** : 参考にしていただきたいページ
- Windows** / **mac** : Windows® と Macintosh 両方に関わる内容
- Windows** : Windows® のみに関わる内容
- mac** : Macintosh のみに関わる内容

知りたいことを探すために

- やりたいことから探す→「何ができるの?」 → **P3**
- 言葉と意味で探す→「用語解説」 → **P60**
- もくじで探す→「もくじ」 → **表紙, P2**
- さくいんで探す→「さくいん」 → **P63**

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。



本製品は PC3R 「PC グリーンラベル制度」の審査基準 (★★☆ 2011 年度版) を満たしています。
 詳細は、Web サイト : www.pc3r.jp をご覧ください。



本製品は「J-Moss グリーンマーク・ガイドライン」に基づく J-Moss グリーンマークを表示しています。
 「J-Moss (JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況についての情報を公開しています。
 詳細は、ウェブサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
 形名 : RDT233WX-3D(BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

WISEO、Diamondcrysta、Diamondcrysta WIDE、DIATONE、ECO Professional は、三菱電機株式会社の登録商標です。
 Microsoft、Windows Vista、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 Macintosh は Apple 社の米国等における登録商標です。
 HDMI、HDMI ロゴおよび、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
 その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわない		必ず指示に従っておこなう
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接続する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体後面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟みこみに注意する









● ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。


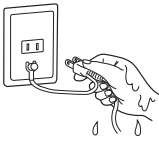



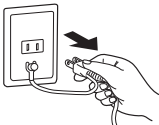






警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!			
異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。 <div style="float: right; text-align: right;">  プラグを抜く </div>			
故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない  火災・感電の原因になります。 <div style="float: right; text-align: right;">  使用禁止 </div>	裏ぶたをはずさない  内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。 <div style="float: right; text-align: right;">  高圧注意 分解禁止 </div>	修理・改造をしない けが・火災・感電の原因になります。 <div style="float: right; text-align: right;">  修理・改造禁止 </div>	
異物をいれない 特にお子さまにご注意 通風口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。 万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 <div style="float: right; text-align: right;">  禁止 </div>	風呂場や水のかかるところに置かない  水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。 <div style="float: right; text-align: right;">  水ぬれ禁止 </div>	キャビネットを破損したときは使わない  火災・感電の原因になります。 <div style="float: right; text-align: right;">  使用禁止 </div>	
アースリード線を接続する  アースリード線をアース端子へ接続しないと故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前におこなってください。 また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。 <div style="float: right; text-align: right;">  アースリード線を接続する </div>	アースリード線を挿入・接触しない  電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。 <div style="float: right; text-align: right;">  禁止 </div>	雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない 感電の原因になります。  ピカッ ゴロゴロ <div style="float: right; text-align: right;">  接触禁止 </div>	

もくじ
 ご使用の前に
 安全のために...
 使用上のお願い
 各部のはたらき
 使用の準備
 3D映像を見る
 機能
 困ったとき
 付録
 解用説語
 たくさん

警告

取り扱いについて	
<p>ポリ袋で遊ばない 特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p> <p>  禁止</p>
<p>本機にのったり、ぶら下がったりしない 特にお子さまにご注意</p> <p>落下してけがの原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p>転倒・落下防止対策をおこなう</p> <p>転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものではありません。すべての地震に対しての効果を保証するものではありません。</p> <p>  転倒・落下を防止する</p> <p> 設置台を補強する</p> <p>丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ</p>
<p>液晶を口にしない</p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったたり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p> <p> 警告</p>	






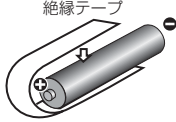



電源および電源コードについて		
<p>電源コードを傷つけない</p> <p> 熱器具のそば 傷つけ禁止 コードをひっぱる 下敷き</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p> <p>  ぬれ手禁止</p>	<p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p> 正しい電源電圧で使用</p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>
<p>電源プラグを奥までさしこむ</p> <p>しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>  しっかりと差し込む</p>	<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> <p>  プラグを持つ</p>	<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p> <p>火災の原因になります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p> <p> ほこりを取る</p>
<p>お手入れの際は電源プラグを抜く</p> <p>感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p> <p> プラグを抜く</p>	<p>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</p> <p>火災の原因となることがあります。</p> <p>  プラグを抜く</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない</p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線はずしたことを確認の上、移動してください。</p> <p>  禁止</p>

よく見てください
ご使用前に
安全のために
使用上の
お願ひ
各部の
はたらき
使用の
準備
3D映像
を見る
機能
困った
とき
付録
解説
用紙
を
よく
読んで

⚠ 警告

万一、電池の電解液が身体に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す!!


手や体に付着した電池の電解液を放置すると、身体に障害が残る危険があります。水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、異常を感じたら医師の診断を受けてください。

<p>電池は分解・加工・改造をしない</p> <p>電池には電解液が入っています。電解液が飛び出して手や体に付着すると危険です。万一、付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い落としてください。その後、医師の診断を受けてください。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>電池を直接半田付けしない</p> <p>半田付けすると電池が高温になり、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>電池を入れるときは、プラスとマイナスの向きを正しく入れる</p> <p>逆に入れると電池の漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 正しく入れる</p>	<p>電池をショートさせない</p> <p>電池の(+)と(-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しないでください。電池をショートさせると、過大電流が流れたりして漏液・発熱・破裂により、けがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>正しい電池を使用する</p> <p>本機のリモコンに下記以外の電池を使用すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p>● 使用電池：アルカリ乾電池またはマンガン乾電池 単4形</p> <p style="text-align: right;"> 正しい電池</p>	<p>保管時</p> <p>金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部を絶縁テープなどで絶縁してください。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p>廃棄時</p> <p>必ず電極部に絶縁テープを貼ってから廃棄してください。廃棄するときは、自治体によって処理の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。</p>
<p>電池を充電しない</p> <p>電池を充電すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>電池を高温・高湿の場所で使用や保管しない</p> <p>直射日光が当たる場所や車内など高温になる場所、湿度が高い場所での電池の使用や保管は、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>電池を加熱したり火の中に入れてない</p> <p>漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	

⚠ 注意

設置のとき、および使用時は次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p>狭い所に置かない</p> <p>  設置禁止</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p> <p>  禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p> <p>  設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p> <p>  禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p> <p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 屋外での使用禁止</p>	<p>液晶パネル面を強く押さない</p> <p>傷がついたり、破損してけがや故障の原因になります。持ち上げる際または運搬の際に、液晶パネル面に指をかけて強く押さないでください。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>手の挟み込みに注意</p> <p>スタンドの角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。</p> <p style="text-align: right;"> 手の挟み込みに注意</p>	<p></p>

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

解読

いさく

⚠ 注意

設置のとき、および使用時は次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。



禁止

キャビネットの通気口を掃除する

キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると、内部の温度が上昇し故障の原因になることがあります。1年に1度はキャビネットの通気口を掃除してください。



プラグを抜く



通気口の掃除

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

内部がショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になります。



設置禁止

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

3D映像を視聴するときの注意

3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じたら、視聴を中止する
3Dメガネを使用中にはっきりと二重に映像が見えたら、視聴を中止する



視聴中止

そのまま視聴すると、長時間の視聴による目の疲れや体調不良の原因になることがあります。適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。3D映画などの場合は、1作品の視聴を目安に適度な休憩をとってください。3Dゲームなどの3D映像の場合は、30分～1時間を目安に適度な休憩をとってください。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴や3Dゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。また、回復するまで(2時間程度)は自動車などの運転をしないでください。回復するまでの時間は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。

3Dメガネは、本機で3D映像を見る以外の用途には使用しない
3Dメガネが割れた状態で使用しない



使用禁止

けがや体調不良、目の疲れの原因になることがあります。

次のようなときは、3Dメガネを使用しない



使用禁止

- 光過敏の既往症がある
 - 心臓に疾患がある
 - てんかんの既往症がある
 - 体調不良や疲れているとき
 - 睡眠不足
 - 酒気を帯びている
 - 妊婦
- 症状や体調の悪化の原因になることがあります。

お子様の視聴年齢は5～6歳以上を目安とする

体調不良、目の疲れの原因になることがあります。お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩を取るよう監督してください。



5～6歳以上

3D映像を視聴中に誤ってモニター画面や人をたたかない
3D映像を視聴するときは、周囲に壊れやすいものを置かない



禁止

画面との距離を誤って画面をたたいたり、身体を動かして周囲のものを壊すなど、けがや故障の原因になることがあります。

3Dメガネに異常・故障があった場合は使用を中止する



使用中止

けがや体調不良、目の疲れの原因になることがあります。

3Dメガネをかけたまま移動しない



禁止

周囲が暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。

3D映像を見るときは3Dメガネを使用し、両目を水平に近い状態で正面から視聴する








両目を水平に近い状態で視聴

体調不良や目の疲れの原因になることがあります。近視や遠視、乱視、左右の視力が異なる方は、視力矯正メガネの装着などによって視力を適切に矯正したうえで3Dメガネを使用してください。










水平に

⚠ 注意

3D映像を視聴するときの注意	
<p>3D映像を見るときは、40cm～80cm離れたところから視聴する</p> <p>近い距離で視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になります。</p>  <p>離れて視聴する</p>	<p>3Dメガネにものを落としたり、力を加えたり、踏んだりしない</p> <p>ガラス部分などが破損して、けがの原因になることがあります。フレームをねじるなど無理な力を加えると、レンズが割れる場合があります。使用後は、お子様の手の届かないところに保管してください。</p>  <p>禁止</p>
<p>鼻やかめかみが赤くなったり痛みやかゆみを感じたり、肌に異常を感じたら、3Dメガネの使用を中止する</p> <p>長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。また、ごくまれに3Dメガネの塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。</p>  <p>使用中止</p>	<p>3Dメガネのヒンジ部に指をはさまない</p> <p>特にお子様にご注意ください。けがの原因になることがあります。</p>  <p>指のけがに注意</p>
	<p>3Dメガネの装着時には、フレームの先端に注意する</p> <p>目をつけて、けがの原因になることがあります。3Dメガネは両手で持ち、正しく装着してください。</p>  <p>注意</p>

ディスプレイの上手な使い方

<p>日本国内専用です</p> <p>この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>  <p>国内専用</p>  <p>For use in Japan only</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜いてください。</p>  <p>プラグを抜く</p>
<p>上手な見方</p> <p>画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくして目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	<p>液晶パネルのお手入れ</p> <p>パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しついたりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。(水、エタノール、イソプロピルアルコール) 推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。</p>
<p>長時間同じ画面を表示しない</p> <p>長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること(残像)がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。</p>  <p>長時間同じ画面を表示しない</p>	<p>キャビネットのお手入れ(光沢キャビネット以外)</p> <p>柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p>  <p>中性洗剤</p>
<p>液晶ディスプレイを廃棄する場合</p> <p>本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。 (→P55 本機を廃棄するには)</p>	<p>キャビネットを傷めないために</p> <p>キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたらないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。</p>   <p>使用禁止</p>

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器に影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6 ヶ月に 1 回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時には、水／ゴミ／ホコリや衝撃の保護のために、ご購入時の包装材（箱／袋／緩衝材）を使用されることをおすすめします。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は 99.9995%以上です。

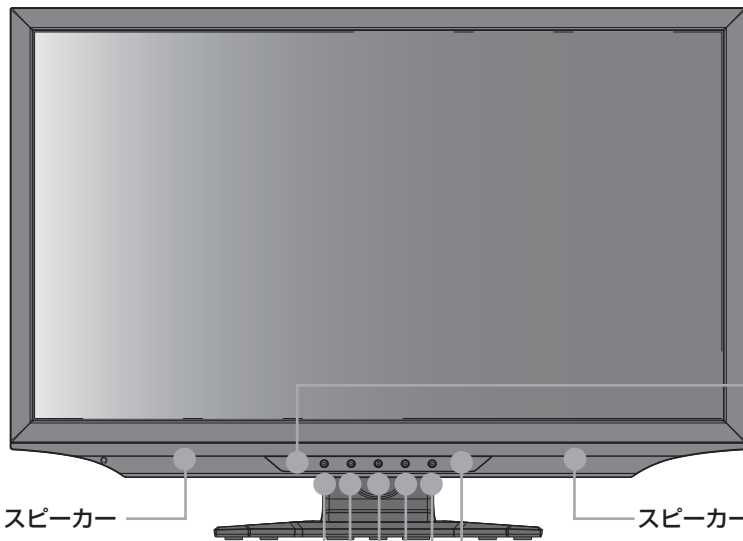
お知らせ

有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。「画素」および「ドット」という言葉は ISO13406-2 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixel)」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押ししたり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本体正面



リモコン受光部

電源ランプ
電源を入れたとき電源ランプは青色に点灯します。パワーマネジメント機能 → P49 が作動中は青色に点滅します。

スピーカー

スピーカー

MENU / ▽ ボタン
OSD 画面が表示されていないとき
OSD 画面を表示します。
OSD 画面が表示されているとき
縦方向の副項目メニューを選択します。

◀ ボタン
OSD 画面が表示されていないとき (ホットキー機能)
「ブライトネス」の調節が選択できる状態になります。
OSD 画面が表示されているとき
左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択 / 調節をおこないます。

▶ ボタン
OSD 画面が表示されていないとき (ホットキー機能)
「音量」の調節が選択できる状態になります。
OSD 画面が表示されているとき
右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択 / 調節をおこないます。

INPUT / EXIT ボタン
OSD 画面が表示されていないとき

- ▶ DVI-D → D-SUB
- ▶ HDMI1 → HDMI2
- ▶ D 端子

の順で入力切替えをおこないます。
OSD 画面が表示されているとき
選択している OSD 項目メニューから抜け出るときに押します。主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD 画面が消えます。

電源スイッチ (⏻)
電源をオン / オフします。
お願い
電源を短時間のうちに頻繁にオン / オフしないでください。故障の原因になることがあります。
お知らせ
付属のリモコンでもオン / オフできます。

お知らせ

- 各ボタンによる詳しい OSD の操作については「OSD の基本操作」 → P32 をごらんください。

本体背面／側面

< AV 機器接続 >

D 端子音声入力端子 (RCA)
コンポーネント出力端子 (D 端子) のある AV 機器を RCA 端子のオーディオケーブル (市販) で接続します。

映像入力端子 (D 端子)
コンポーネント出力端子 (D 端子) のある AV 機器を D 端子映像ケーブル (市販) で接続します。

HDMI 入力端子 (HDMI1、2)
HDMI 出力端子のある AV 機器を HDMI ケーブルで接続します。
(下が HDMI1、上が HDMI2)

VESA 規格準拠穴
(以下、VESA 穴と記載)
市販のアームスタンドを取り付けられます。(M4-100mm ピッチ) → P58

盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー (Kensington 社製) を取り付けられます。

電源入力コネクタ
電源コードを接続します。

ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。

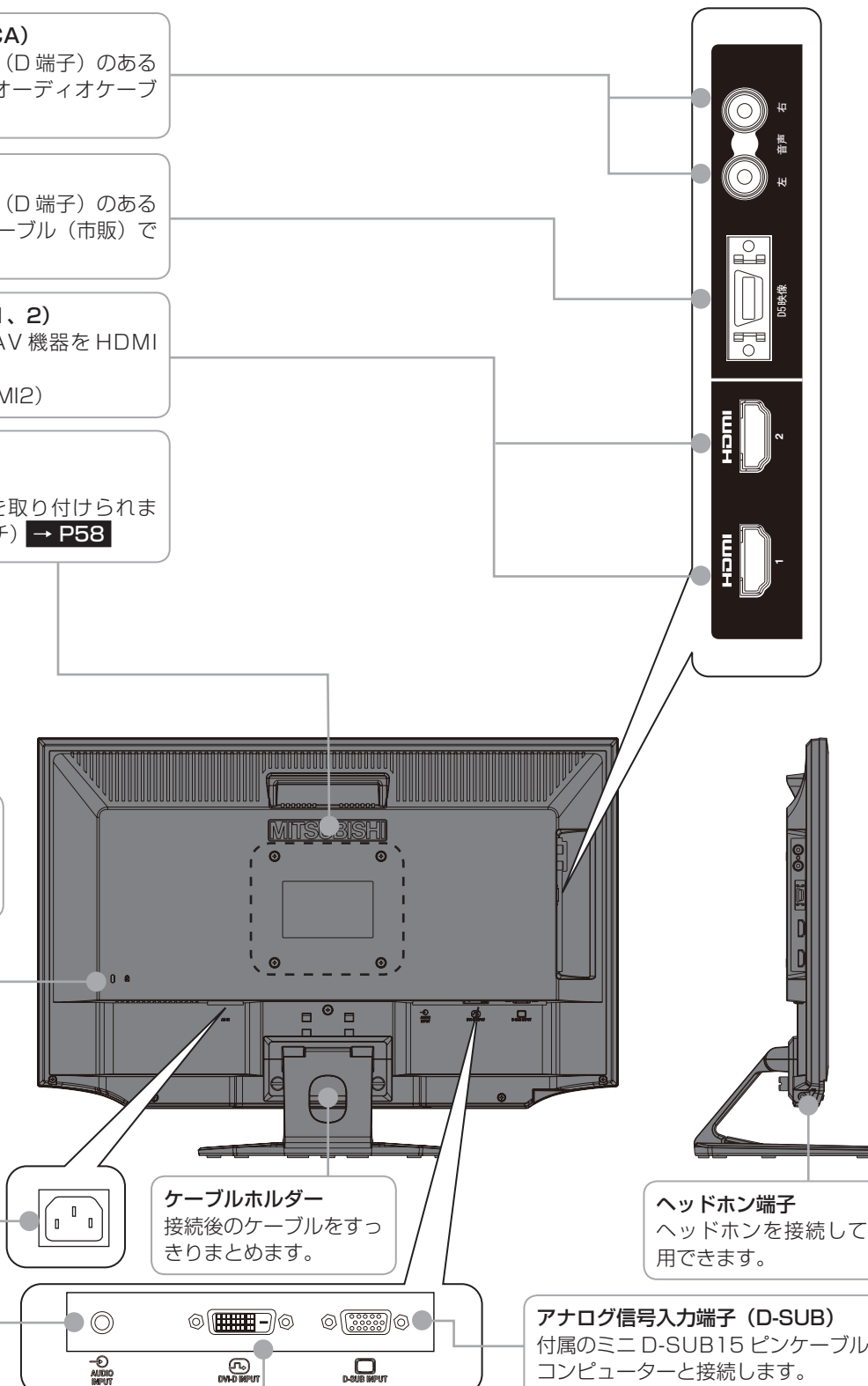
ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

アナログ信号入力端子 (D-SUB)
付属のミニ D-SUB15 ピンケーブルでコンピューターと接続します。

デジタル信号入力端子 (DVI-D)
付属の DVI-D ケーブルでコンピューターと接続します。

音声入力端子 (ミニジャック)
付属のオーディオケーブルでコンピューターと接続します。

< PC 接続 >



よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D映像

機能

困った

とき

付録

解説

いさく

リモコン

画面サイズボタン

画面サイズを切替えます。
(4 モード) → P37
フル、アスペクト、2xズーム、リアル

スルーモードボタン

スルーモード機能をオン/オフします。 → P38

MENU / EXIT ボタン

OSD 画面を表示または消します。
OSD 機能の操作の最中には 1 つ前の画面に戻ります。

DV MODE ボタン

DV MODE を DV MODE スキップ設定に応じて切替えます。
→ P34
現在の状態が画面左上に表示されます。

ブライトネスボタン

画面の明るさを調節します。
▲：明るくなります。
▼：暗くなります。

子画面 ON/OFF ボタン

子画面 (PIP 画面) の表示をオン/オフします。
スルーモード機能をオンにしているときは、子画面を表示できません。

子画面 映像入力ボタン

(子画面表示時のみ有効です)
子画面に表示する映像を切替えます。

子画面 親子切替ボタン

(子画面表示時のみ有効です)
現在表示中の親画面と子画面を入替えます。

子画面 サイズボタン

子画面のサイズを切替えます。
(3 モード)
小、中、大

子画面 位置ボタン

子画面の表示位置を切替えます。
右上、右下、左下、左上

子画面 超解像ボタン

(子画面表示時のみ有効です)
子画面の超解像効果をオン/オフします。(子画面の超解像効果のレベル調節は、OSD 画面でおこないます。
→ P42)

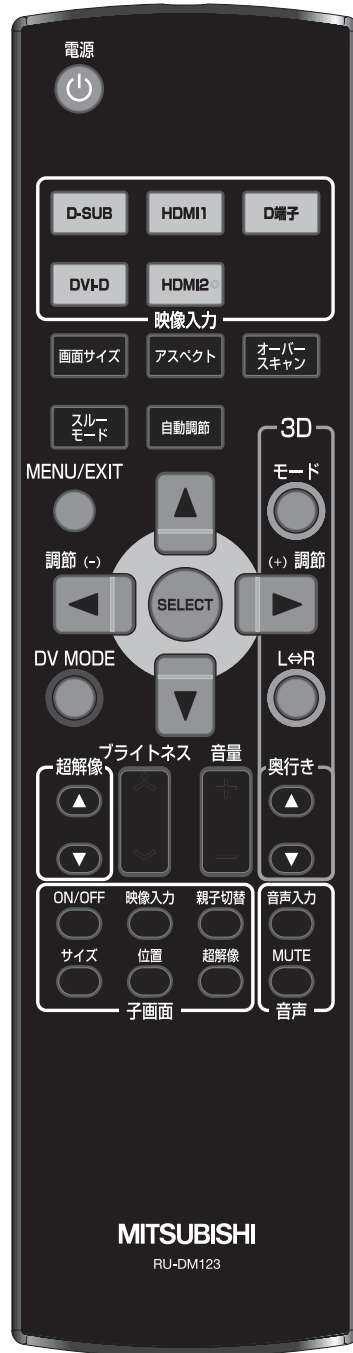
親画面の超解像効果が設定されている場合、子画面のレベル設定値にかかわらず、親画面の超解像効果が適用されます。(子画面の超解像効果がオンの場合)

電源ボタン

電源をオン/オフします。

映像入力ボタン

(D-SUB) (DVI-D) (HDMI1) (HDMI2) (D 端子)
それぞれの映像入力をダイレクトに切替えます。



音声 MUTE (消音) ボタン

音を消します。
もう一度押すか、音量ボタンを押すと、音が出るようになります。

アスペクトボタン

SD タイミングの入力映像に対して、画面のアスペクト比を設定します。
自動、16:9、4:3、ポータブル
PC 入力時は使用できません。

オーバースキャンボタン

オーバースキャン率を設定します。
(4 モード) → P38
100% (FULL)、98%、95%、93%
PC 入力時は切替えできません。

自動調節ボタン

(PC アナログ接続時のみ有効です)
左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。

コントロールボタン (▲▼◀▶)

OSD 画面の操作をします。

SELECT ボタン

OSD 画面が表示されている場合
選んだ項目を実行します。

3D モードボタン

3D 映像のモードを切替えます。
(4 モード)
自動判別、マニュアル、3D → 2D、
2D → 3D

3D L⇔R ボタン

3D 映像の左右を反転させます。
3D 映像の左右と 3D メガネの左右レンズが合っていない時に、3D 映像の左右を反転させて正しく表示します。

3D 奥行きボタン

3D 映像の奥行き感を切替えます。
(13 段階)
-6 ~ 6
▲：3D 映像が奥のほうに後退します。
▼：3D 映像が手前のほうに出てきます。

超解像ボタン

親画面の超解像設定を切替えます。
(10 段階) → P35
0 (オフ) ~ 100
▲：超解像効果が大きくなります。
▼：超解像効果が小さくなります。

音量ボタン

音量を調節します。
+：音が大きくなります。
-：音が小さくなります。

音声 音声入力ボタン

現在表示中の映像ソースに関係なく、音声入力のみを切替えることができます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

解説

いさく

リモコンの取り扱い

基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

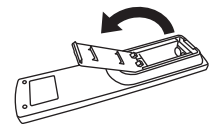
⚠ 注意

● リモコン使用上の注意

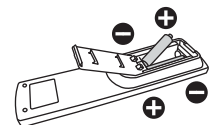
- 本機専用のリモコンです。他のディスプレイやテレビなどの操作はできません。
- リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約 3m ですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。故障の原因となります。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
- リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

電池の入れ方

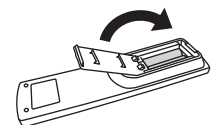
1 ふたのフックを矢印のように押しながらかき上げる



2 ケース内部の表示通りに⊕ ⊖を合わせて入れる



3 ふたを元に戻す



⚠ 警告

- 使用している電池は、使用形態や使用環境、保存環境などによって、漏液・発熱・破裂による火災、けがや機器故障の原因となります。
- 「安全のために必ずお守りください。」 → P7 をご覧になり、取り扱いには十分に注意してください。

⚠ 注意

- 長期間リモコンを使用しない場合や使い切った電池はすぐにリモコンから取り出してください。
長期間放置すると電池から発生するガスによる漏液、発熱により、リモコンを損傷する恐れがあります。

お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消費することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。

使用の準備

使用するための流れ



これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

もくじ
ご使用の
前に
安全の
ために
...
使用上の
お願い
各部分の
はたらき
使用の
準備
3D映像
を見る
機能
困った
とき
付録
用語
解説
いさく

[準備1] スタンドを組立てる

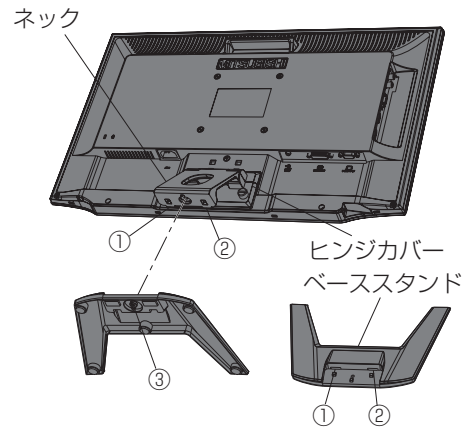
ベーススタンドを取り付ける

お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

語句説明

- スタンドとは、付属のベーススタンドとヒンジカバー付きのネックを組立てた状態を示します。



【ベーススタンドの取り付け】

- 1 本機を下向きに置いてください。
- 2 ネックのツメ①②とベーススタンドの穴①②を合わせてください。
- 3 ベーススタンドに付随しているネジ③を締めてください。

⚠ 警告

- ネジは確実に締めてください。緩んでいると本機が転倒し、けがおよび破損や故障の原因になります。

- 4 スタンド組立後に本機を机の上に立てる際に、ネジのタブが倒されていることを確認してください。

⚠ 注意

- ネジのタブが立ったままだと机を傷つけたりタブが破損することがあります。

お知らせ

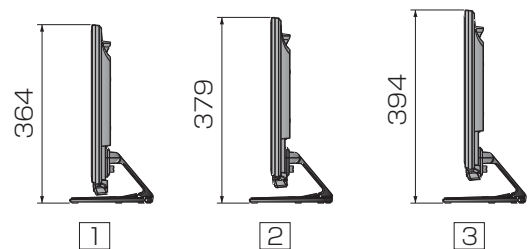
- ベーススタンドを外すときは上記と逆の手順で外してください。

[準備2] 画面の高さを調節する

[必要に応じて]

好みの画面高さにスタンドを取り付ける

お好みに合わせて本機の画面の高さを調節してください。調節は右図の3段階が可能で、出荷時の設定は③です。スタンドのA②のツメとディスプレイ部の高さ調節穴①②③を使用し以下の手順でおこなってください。



ディスプレイ部

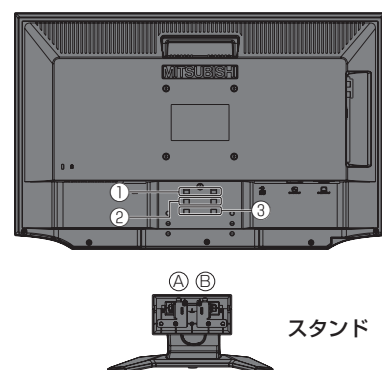
⚠ 警告

- スタンド使用状態でスタンドの固定ネジを緩めたり外したりしないでください。ディスプレイ部が脱落して、けがおよび破損や故障の原因になります。

お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

- 1 本機を下向きに置いてください。

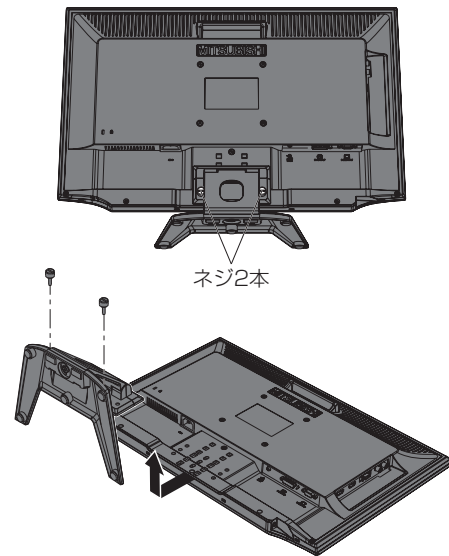


スタンド

2 右図のネジ 2 本を取り外してください。

お知らせ

- ネジがきつく締まっている場合はマイナスドライバーまたはコインなどを使って外してください。



3 スタンドを矢印の方向にスライドし上に持ち上げて取り外してください。

4 上記 3 と逆の要領で、お好みの高さとなる高さ調節穴にスタンドのツメを差し込みスライドさせます。

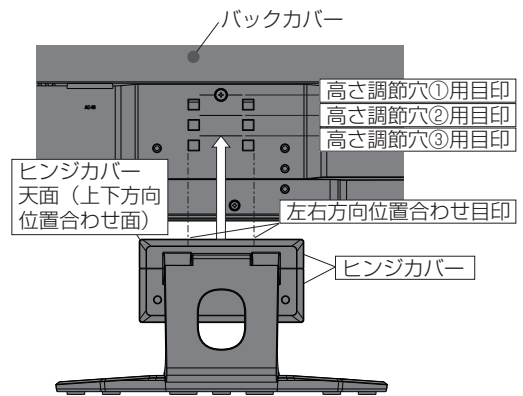
お知らせ

- スタンドを取り付けるときにバックカバー上の目印とヒンジカバー上端を合わせるとツメを差し込みやすくなります。

⚠ 注意

- バックカバーの傷つき防止のため、ツメが穴に合うまで、できるだけツメをバックカバーに接触させないでください。

5 上記 2 で取り外したネジを元のようにヒンジカバーの穴 2 箇所を通してスタンドを本体に固定します。



⚠ 警告

- ネジは確実に締めてください。緩んでいると本機が転倒し、けがおよび破損や故障の原因になります。

⚠ 注意

- スタンドを取り付ける場合は、必ずスタンドの取り付けに使用していたネジを使ってください。仕様の異なるネジを使用すると、本機が故障する原因になる恐れがあります。

[準備 3] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- デジタル接続とアナログ接続を同時におこなう場合は、まず、デジタルの信号ケーブルを先に接続してください。

お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部分のはたらき

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

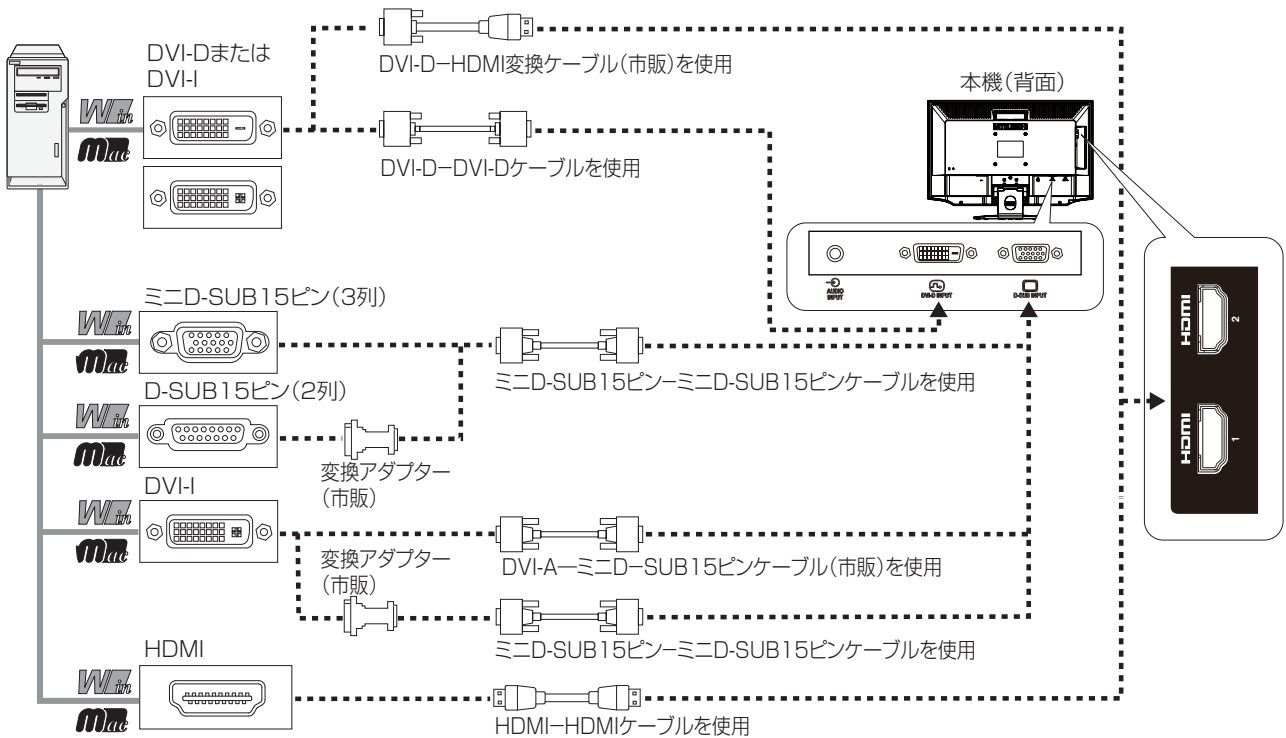
付録

用語解説

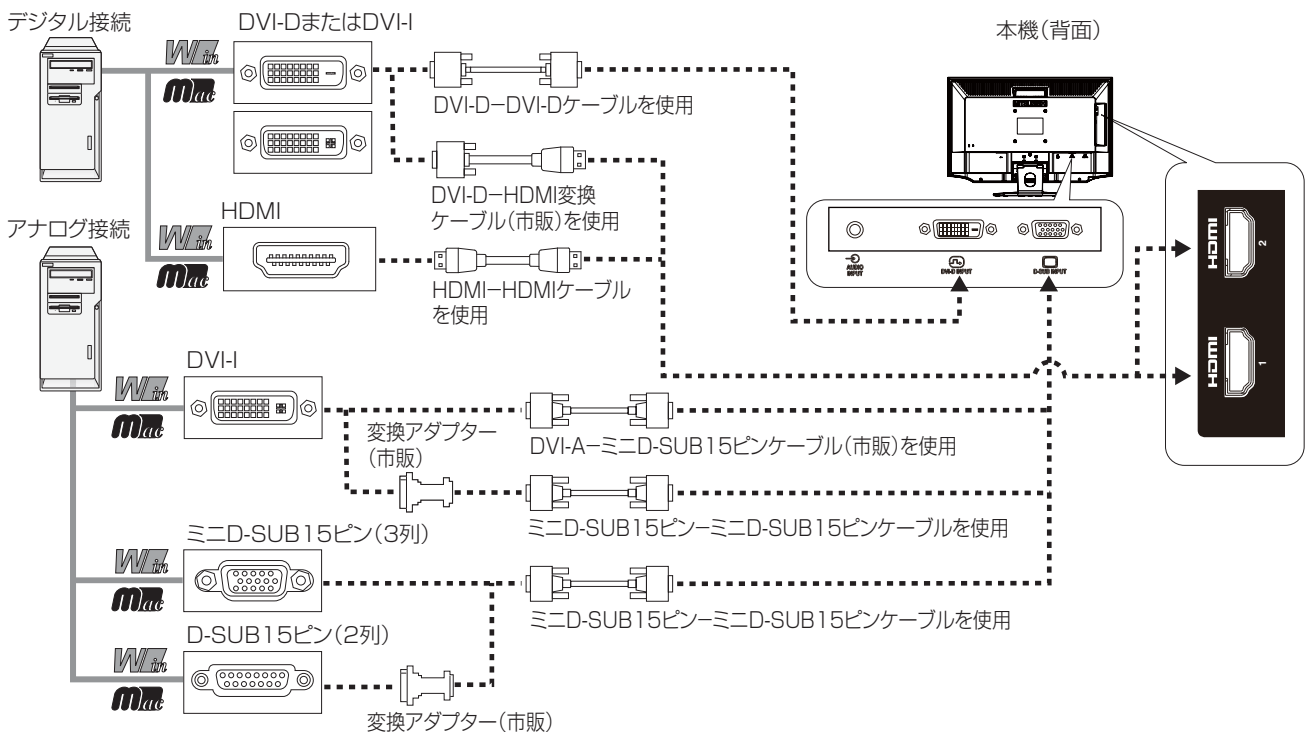
いさく

[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

1 台のコンピューターを接続 (デジタル接続/アナログ接続)



2 台のコンピューターを接続 (デジタル 1 系統/アナログ 1 系統同時接続)



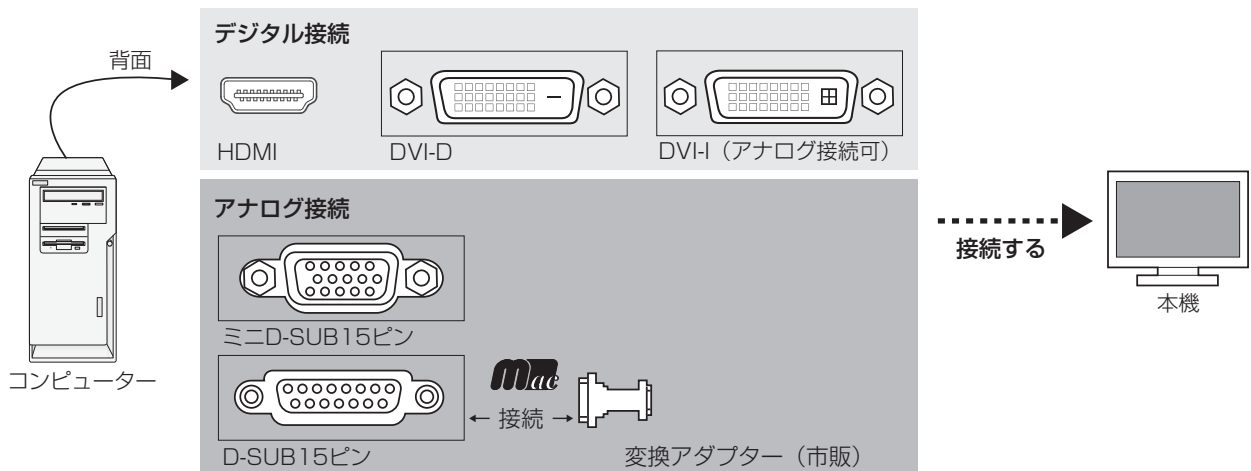
[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

3台～4台のコンピューターを接続 (デジタル2～3系統/アナログ1系統同時接続)


前ページの接続図において、2台～3台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。さらにもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台～4台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号 (ミニD-SUB15ピン) とデジタル信号 (DVI-D、HDMI) に対応しています。また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 コンピューター側	ミニD-SUB15ピン (アナログ)	DVI-D (デジタル)	HDMI (デジタル)
DVI-I (アナログ接続/ デジタル接続)	DVI-A-ミニD-SUB15ピンケーブル (市販)で接続(アナログ接続) または、ミニD-SUB15ピン-ミニ D-SUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	DVI-D-DVI-Dケーブルで 接続	DVI-D-HDMI変換ケーブル (市販)で接続
DVI-D (デジタル接続)	接続できません	DVI-D-DVI-Dケーブルで 接続	DVI-D-HDMI変換ケーブル (市販)で接続
HDMI (デジタル接続)	接続できません	DVI-D-HDMI変換ケーブル (市販)で接続	HDMI-HDMIケーブル で接続
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続) (3列)	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB 15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン (アナログ接続) (2列) 	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB 15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	接続できません	接続できません

DVI-I : デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能

DVI-D : デジタル入力のみに対応しているDVI端子

DVI-A : アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

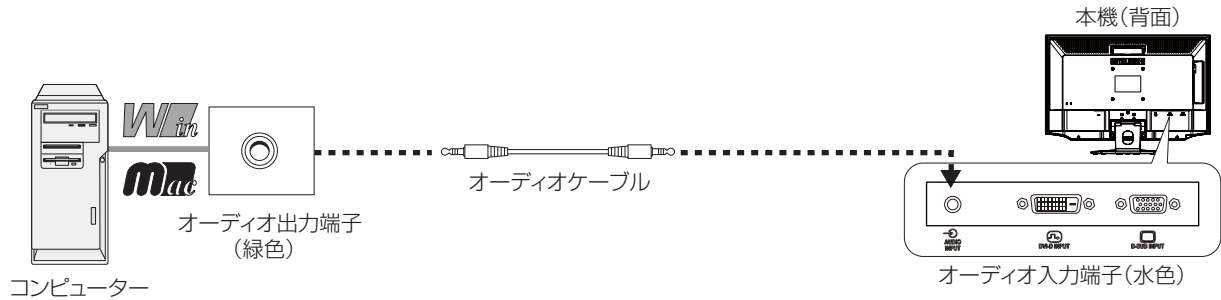
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

※ HDMIケーブルは、HIGH SPEED HDMI® CABLEの表示があるものをご使用ください。

1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合があります。

[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

コンピューターのオーディオ出力端子と接続



お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものでご使用ください。抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

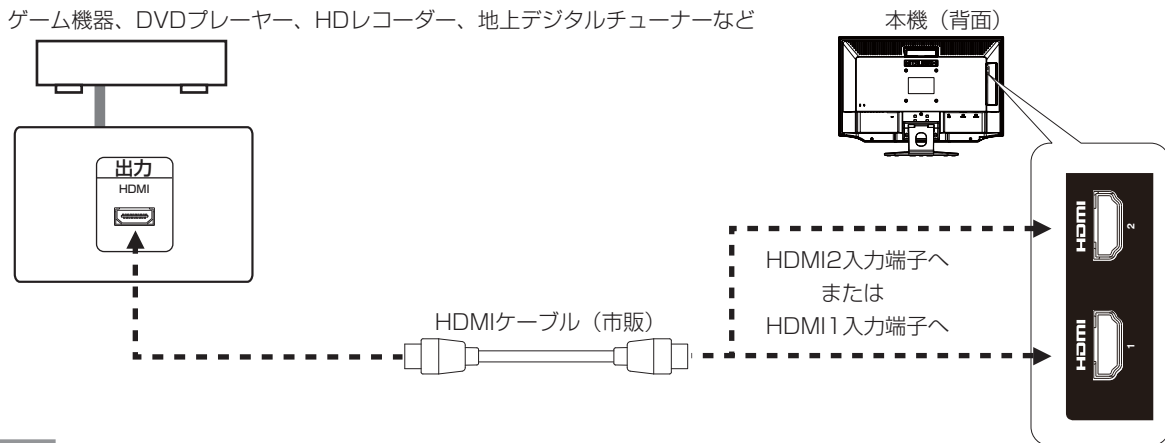
[準備4] ディスプレイとAV機器を接続する

[必要に応じて]

HDD/DVD や各種ゲーム機器などの AV 機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV 機器などと接続して使用することができます。
機器側の接続方法については、ご使用になる AV 機器などの取扱説明書もあわせてご参照ください。

HDMI 出力に対応した AV 機器に接続するとき



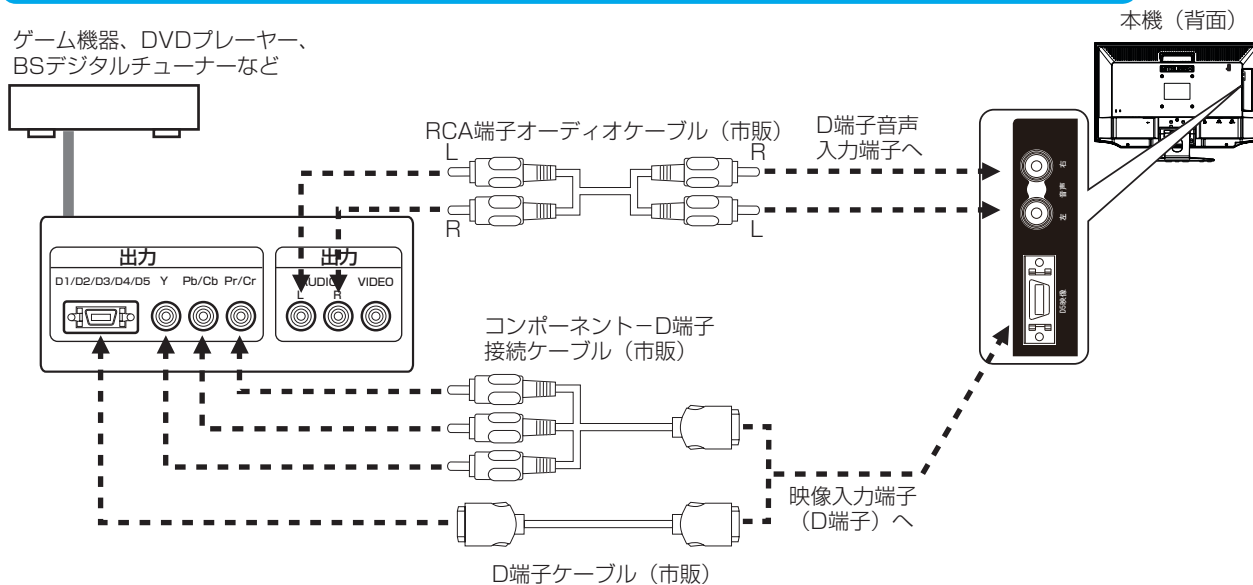
お知らせ

- HDMI - HDMI ケーブル接続で 2 台の AV 機器との接続ができます。すべての HDMI 機器への接続を保証するものではありません。
- 一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。数秒 (5 ~ 30 秒) お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
 - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
 - ・ PC 入力自動切替機能をオフにすると、表示されやすくなる場合があります。
 - ・ 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。
 - ・ AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- D 端子入力で AV 機器と接続される場合、音声信号は AV 機器のオーディオ出力端子と本機の D 端子音声入力端子を接続してください。
- HDMI ケーブルは、HIGH SPEED HDMI® CABLE の表示があるものをご使用ください。1080p 映像信号を入力する場合は、一般の HDMI ケーブルでは正常に動作しない場合があります。

[準備4] ディスプレイとAV機器を接続する [必要に応じて] (つづき)

コンポーネント映像出力 (D端子出力) に対応したAV機器に接続するとき

ゲーム機器、DVDプレーヤー、
BSデジタルチューナーなど



注) HDMI入力の場合、オーディオ接続は不要です。(HDMI信号に音声信号が含まれています。)

お知らせ

- ゲーム機やビデオムービーなど一部の機器では、音声専用コネクタまたはステレオジャック出力の場合もあります。専用ケーブルが必要な場合は、接続機器の取扱説明書をご参照のうえ、専用ケーブルを購入してください。

[準備5] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

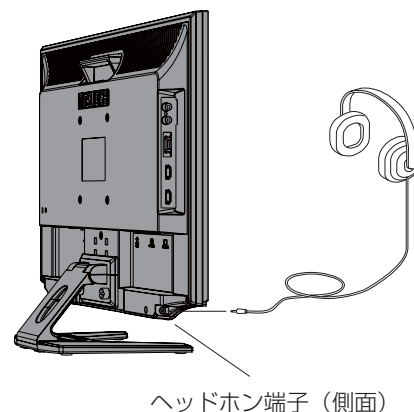
本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠ 注意

- ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ (市販) をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時 (電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など) にノイズが発生することがあります。



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部分の名称

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語説明

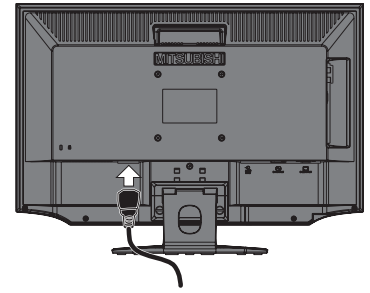
いさく

[準備6] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む
奥までしっかりと差し込んでください。

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(1.5 A 以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。



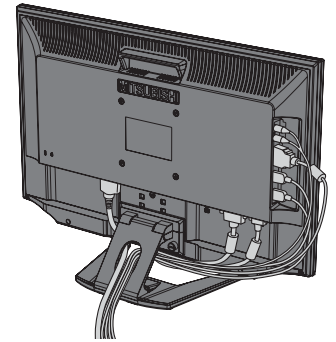
[準備7] ケーブルをまとめる

[必要に応じて]

本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブル
を、スタンドのケーブルホールを通してまとめる

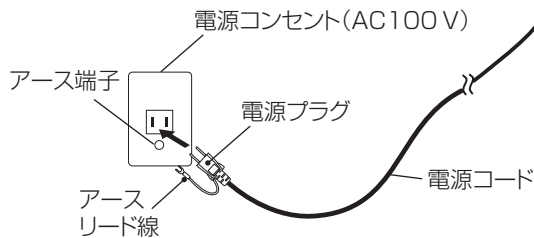
お願い

- 画面を上方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホールを通してまとめてください。
設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。



[準備8] 電源プラグのアースリード線を接続する

[準備9] 電源プラグを AC 100 V 電源コンセントに接続する



お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント (AC100 V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。
AC100 V 以外 (最大 AC240 V) でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず電源コンセントのアース端子などへ接続してください。
なお、アースリード線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。

アース端子つきコンセントがない場合

- ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線に接続しないでください。
感電・爆発・引火の原因になります。
- お買い上げの販売店にアース工事 (D 種接地工事、有料) をご相談ください。
アース工事は「電気工事士」資格が必要です。

[準備 10] 設置する

ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。

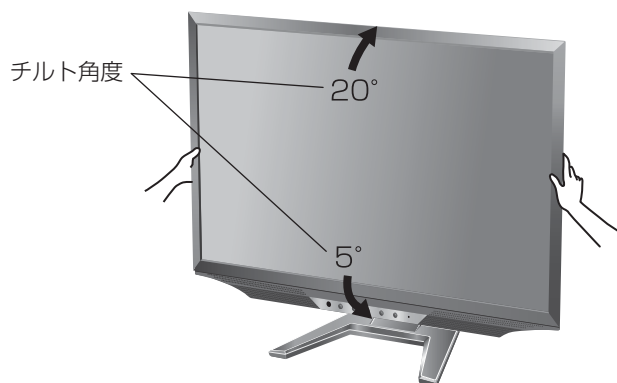
[準備 11] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

角度を調節する

お好みに合わせて本機の画面の角度を調節してください。
右図のように両手で動かして見やすい角度に調節します。

⚠ 警告

- 角度調節時に、手を挟まないように気をつけてください。けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願いの

各部のはたらき

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

「自動調節をする (D-SUB 入力 のとき)」 → P25 の手順にしたがって画面を調節してください。

自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「サイズ位置」メニュー (OSD 機能) → P37 をご覧ください。

テストパターン

付属のユーティリティーディスクには、テストパターンが入っています。

このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。

ご使用方法については、ユーティリティーディスクの README をご覧ください。

「サイズ位置」メニューの「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。 → P37

「サイズ位置」メニューの「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。 → P37

「映像モード」メニューの「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。 → P36



テストパターン表示画面

お知らせ

テストパターンは、64bit 版 OS に対応しておりません。

<対応 OS>

Windows® 95/98/Me/2000、Windows® XP(32bit 版)、Windows Vista® (32bit 版)、Windows® 7(32bit 版)

自動調節をする (D-SUB 入力するとき)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P31 ~ P43

自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の 2 つに分かれています。2 つともおこなってください。

お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。
- OSD 画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD の基本操作」→ P32 をご覧ください。

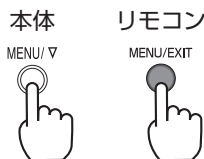
1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの映像入力「D-SUB」ボタンを押して、映像入力を (D-SUB) に切替える

3 画面全体に付属のユーティリティディスクのテストパターン → P24 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する



4 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「MENU / EXIT」ボタンを押して、OSD 画面を表示する



5 コントラストの自動調節をおこなう (オートコントラスト)

- ① 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「映像モード」の「オートコントラスト」を選ぶ。
- ② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「YES」を選ぶ。
- ③ 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、オートコントラストを実行する。



入力された信号レベルに合わせて、コントラストの自動調節を開始します。
(実行中・・・) の表示が消えたらコントラストの自動調節は完了です。
手順 6 に進みます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために...
使用上のお願
各部分の
使用の準備
3D映像
機能
困ったとき
付録
用語
いさく

6 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう (自動調節)

- ① コントラストの自動調節が完了した状態で、本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「MENU / EXIT」ボタンを押して、グループアイコンへ戻る。
- ② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、グループメニューの「サイズ位置」を選ぶ。
- ③ 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「自動調節」を選ぶ。
- ④ 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「YES」を選ぶ。
- ⑤ 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、自動調節を実行する。



入力された信号に合わせて、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。

「実行中・・・」の表示が消えたら調節は完了です。

これですべての自動調節が完了しました。

7 本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU / EXIT」ボタンを2回押して、OSD画面を消す

お願い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。 → P37
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。

[準備 13] Windows® セットアップ情報

[必要に応じて]

Windows® XP/7、Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

ECO 設定の変更

- 1 ① 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「MENU / EXIT」ボタンを押して、OSD 画面を表示する。
- ② 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、グループメニューの「ツール」を選択する。
- ③ 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO PROF.」を選択する。
- ④ 本体の「▶」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、「ECO PROF.」の詳細ページに移動する。
- ⑤ 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「オフ」「小」「中」「大」 → P44 の中から、お好みの設定を選ぶ。



お知らせ

- OSD の操作方法は、OSD の基本操作 → P32 を参照ください。

ECO メーターの表示

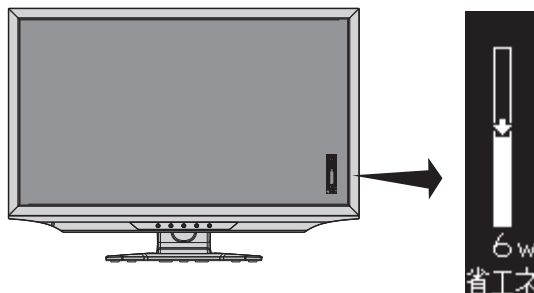
- 2 常に省エネ状態を確認できる「ECO メーター」を表示したい場合、ECO PROF. 詳細ページ画面で
 - ① 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO メーター表示」を選択する。
 - ② 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「オン」を選択する。
 - ③ 本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO メーターシースルー」を選択する。
 - ④ 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、お好みの透過率に設定する。

ECO メーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO 設定」により値が変わります。

- ⑤ 本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU / EXIT」ボタンを 3 回押し、OSD 画面を消す。

OSD 画面を消した後に、画面の右下に ECO メーターが設定した透過率で表示されます。 → P44
「ECO メーター」を表示したくない場合は、「オフ」を選択するか透過率を「0」にすると消えます。



省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。

「省エネ電力量リセット」を選択して、「YES」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO₂削減量」がゼロに戻ります。

お知らせ

- 上図の ECO メーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値 (W) は変化します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために...
使用上のお願ひ
各部分の
はたらき

使用の準備
3D映像
を見る
機能

困った
とき

付録

用語
解説

いさく

3D 映像を見る

本機に付属の 3D メガネを使って 3D に対応したコンテンツなどを見ると、3D 映像が楽しめます。

3D メガネは、視力矯正用メガネの上からかけることができます。

※ ご使用前に → P8 の「3D 映像を視聴するときの注意」も必ずお読みください。

3D メガネについて

本機に付属の 3D メガネは、本機専用です。

■ 3D メガネを使用するときは

- 3D メガネは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像を見ることができません。
- 3D メガネをかけた状態では、他のディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなる場合があります。3D 映像を視聴するとき以外は、3D メガネをはずして見てください。
- 3D メガネはサングラスではありません。サングラスとして使用しないでください。
- 互換性の無い他社製品用の 3D メガネは使えません。
- 映画館等で配る 3D メガネは使えません。

3D 映像を視聴する

本機では、次の 3D 映像に対応した入力信号を立体的な映像として視聴することができます。

- デジタル放送用チューナーを介して入力された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の 3D 映像（サイドバイサイド方式のみ）
- HDMI 入力に接続した 3D 映像対応レコーダー / プレーヤーや 3D 映像対応ゲーム機から入力した 3D 映像（サイドバイサイド方式、トップアンドボトム方式、フレームパッキング方式）
- D-SUB、DVI-D、HDMI に接続したコンピューターから入力した 3D 映像（サイドバイサイド方式、トップアンドボトム方式、ラインバイライン方式）

3D の方式については、→ P46 をご覧ください。

また、通常映像（2D）を擬似的に 3D に変換することもできます。 → P30

1 3D 映像を画面に映す



2 3D メガネを装着する

3 自動で 3D に切替わらないときは

MODE を押して 3D モードを切替える

OSD 画面で項目を選び、◀ (左向き) や ▶ (右向き) ボタンで切替えることもできます。 → P46
マニュアルを選択した場合は、サイドバイサイドとトップアンドボトムを切替えることができます。



2D → 3D 変換では、通常映像（2D）を擬似的に 3D に変換して表示します。

■ 3D 映像が正しく表示できない場合や、設定の仕方がわからない場合は次の手順で行ってください。

AV 機器を接続している場合（HDMI 入力）：

① 3D モード設定を「自動判別」にする。

フレームパッキング方式：現在の設定状態で 3D 映像が正しく表示されます。

サイドバイサイド方式：下の図のような映像が表示される場合、現在入力されている映像はこの方式です。



3D 映像を見る (つづき)

次の手順で設定ください。

- ②サイズ位置グループにある画面サイズを「フル」にする。
- ③ 3D モード設定を「マニュアル」にする。
- ④ 3D フォーマットを「サイドバイサイド」にする。

トップアンドボトム方式 : 下の図のような映像が表示される場合、現在入力されている映像はこの方式です。



次の手順で設定ください。

- ②サイズ位置グループにある画面サイズを「フル」にする。
- ③ 3D モード設定を「マニュアル」にする。
- ④ 3D フォーマットを「トップアンドボトム」にする。

ラインバイライン方式 : 現在の設定状態で 3D 映像が正しく表示されます。
ただし、入力信号の解像度が 1920 × 1080 以外の場合は、サイズ位置グループにある画面サイズを「リアル」にしてください。

コンピュータを接続している場合 (DVI-D および D-SUB 入力) :

- ①コンピュータの 3D アプリケーションを全画面表示にする。
- ② 3D モード設定を「自動判別」にする。

フレームパッキング方式 : 対応していません。

サイドバイサイド方式 : 下の図のような映像が表示される場合、現在入力されている映像はこの方式です。



次の手順で設定ください。

- ③サイズ位置グループにある画面サイズを「フル」にする。
- ④ 3D モード設定を「マニュアル」にする。
- ⑤ 3D フォーマットを「サイドバイサイド」にする。

トップアンドボトム方式 : 下の図のような映像が表示される場合、現在入力されている映像はこの方式です。



次の手順で設定ください。

- ③サイズ位置グループにある画面サイズを「フル」にする。
- ④ 3D モード設定を「マニュアル」にする。
- ⑤ 3D フォーマットを「トップアンドボトム」にする。

ラインバイライン方式 : 現在の設定状態で 3D 映像が正しく表示されます。
ただし、入力信号の解像度が 1920 × 1080 以外の場合は、サイズ位置グループにある画面サイズを「リアル」にしてください。

■ 3D 映像の視距離および位置について

- 3D 映像を視聴するときは、約 40cm ~ 80cm の視距離で視聴することをおすすめします。
- 3D 映像が二重に見える場合は、目の位置や高さがない場合があります。この場合は、目の位置や高さを変えていただくか、ディスプレイの高さ調節やチルト角度調節を行って、3D 映像が見えやすい位置で視聴ください。
- 推奨距離以外で視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。

お知らせ

- 3D 映像対応レコーダー / プレーヤーや 3D 映像対応ゲーム機からの 3D 映像を映す場合、レコーダー / プレーヤーやゲーム機側の 3D モード（「3D 設定方式」など）の切替えが必要な場合があります。くわしくは、レコーダー / プレーヤーやゲーム機の取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータからの 3D 映像を映す場合、アプリケーション側の 3D モード（「3D 設定方式」など）の切替えが必要な場合があります。くわしくは、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- 3D 映像の見えかたには、個人差があります。

近視や遠視、乱視、左右の視力が異なる方は、視力矯正メガネの装着などによって視力を適切に矯正したうえで、3D メガネを使用して視聴してください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部はたらき

使用の準備

3D 映像を見る

機能

困ったとき

付録

解説語

いさく

3D 映像を見る (つづき)

お願い

- 3D 映像を視聴するときは、→ P8 の「3D 映像を視聴するときの注意」もよくお読みください。
- 3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止してください。
そのまま視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。
- お子様の視聴年齢は 5～6 歳以上を目安としてください。お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合があります。お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩をとるよう監督してください。

通常映像を 3D のように視聴する

本機では、通常の映像を 3D メガネを使って立体的な映像で擬似的に視聴することができます。



1 3D のように視聴したい画面を映す

2 **モード** を押して「2D → 3D 変換」を選ぶ



OSD 画面で項目を選び、◀ (左向き) や ▶ (右向き) ボタンで切替えることもできます。→ P46

3 3D メガネを装着する

お願い

- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、「2D → 3D 変換」機能を利用して、通常の 2D 映像を 3D に変換すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

3D 映像の見えかたを調節する。(3D 奥行き調節 /L ⇔ R)




3D 映像の奥行き感を切替えて見やすくすることができます。

また、3D 映像を視聴中に違和感を感じるときは、3D 映像の左右と 3D メガネの左右レンズが合っていない可能性があります。「L ⇔ R」で 3D 映像の左右を反転させると違和感がなくなる場合があります。

- 「3D 奥行き調節」と「L ⇔ R」は 3D モード → P28 が「3D」のときだけ表示されます。

■ 3D 奥行き調節の場合

 を押して、見やすい奥行きに切替えてください。

■ L ⇔ R の場合

 を押して、L または R の見やすい方に切替えてください。

本機には画面の調節が簡単にできる OSD (On Screen Display) 機能がついています。OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD 画面の構成

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

グループアイコン
 選択されているグループアイコンは青く表示されます。

選択項目
 選択項目が青い背景で表示されます。その他の項目を選択する方法を示す△▽◀▶が青い背景で表示された選択項目の上下左右に表示されます。

調節項目
 調節できる項目は黄色で表示されます。調節や選択する方法を示す◀▶が両端に表示されます。実行が必要な場合は、本体の「MENU / ▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押します。

スキップアイコン 
 スキップ設定をした DV MODE にこのアイコンが表示されます。リモコンで DV MODE を切替える際、このアイコンが表示された DV MODE はスキップされます。

チェックアイコン 
 チェックが入っている調節項目が選択されています。

黒色文字
 映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

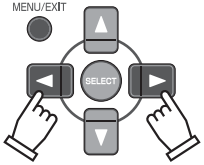
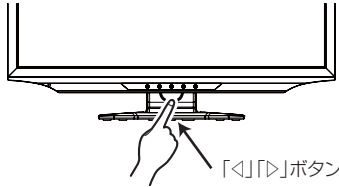

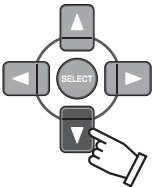
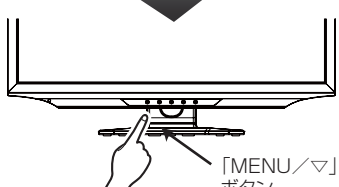

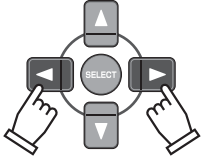
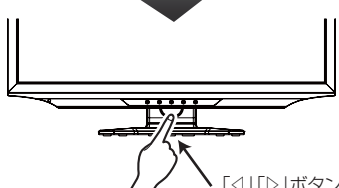

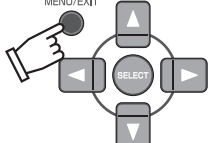
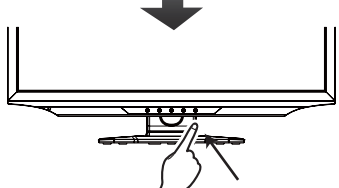

灰色文字
 他の調節項目による使用制限のため使用できない場合、灰色文字になります。

ツリーアイコン 
 調節項目に対してさらに詳細設定があることを示します。このとき本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。

案内
 次のページや制限、特別操作などがあるときは案内が表示されます。

OSDの基本操作

リモコンの「MENU/EXIT」ボタンまたは本体の「MENU/▽」ボタンを押して、OSD画面を表示します。

	リモコン操作	本体操作	OSD画面
よく ご使用の 前に 安全の ために… 使用上の お願ひ 各部の はたらき 使用の 準備 3D映像 を見る 機能 困った とき 付録 解説 いさく	 <p>「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する</p>	 <p>「◀」「▶」ボタン 本体正面よりボタンを操作する</p>	 <p>選択したグループアイコンが青色になる</p>
	 <p>「▼」ボタンで、調節する項目を選択する</p>	 <p>「MENU/▽」ボタン 本体正面よりボタンを操作する</p>	 <p>選択した項目が青色になる</p>
	 <p>「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる</p>	 <p>「◀」「▶」ボタン 本体正面よりボタンを操作する</p>	 <p>選択した調節項目の背景が黄色になったり、調節量表示サイドバーが増減する</p>
	 <p>「MENU/EXIT」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す</p>	 <p>「INPUT/EXIT」ボタン 本体正面よりボタンを操作する</p>	 <p>グループアイコン選択OSD画面になる</p>

もう一度、リモコンの「MENU/EXIT」ボタンまたは本体の「MENU/▽」ボタンを押すと、OSD画面が消えます。

グループの構成

各グループの構成は以下のようになっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。



お知らせ

- 本機は一般的なコンピューターと「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節により適切な画面を表示します。 → P25
ただし、コンピューターによっては画面にちらつきや、にじみが生じることがあります。また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。その場合は OSD 機能を使用して画面の調節 → P34～P47 をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために...
使用上のお願ひ
各部のはたらき
使用の準備
3D映像を見る
機能
困ったとき
付録
解用説
いさく

OSD 機能一覧

映像モード

DV MODE 1 の例



DV MODE 2 の例



■ DV MODE (Dynamic Visual MODE)

DV MODE (画像表示モード) をお好みに応じて切替えます。

スタンダード : 標準の設定です。

IV テキスト : 全体の明るさ、コントラストを抑え、目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。

フォト : 写真に適した設定です。

sRGB : 色再現国際規格 sRGB に対応した色で表現します。

テレビ : テレビ番組の視聴に適した設定です。

ゲーム : 中間調にメリハリをつけ、より迫力のある画像を提供する解像度の高いゲームに適した設定です。

シネマ : 暗いシーンの多い映画の鑑賞に適した設定です。

ネット : インターネットのストリーミング動画に適した設定です。

お知らせ

DV MODE とは、ゲーム、ネット、映画、写真など、表示する内容に合わせた画質を設定・選択できる 8 つのモード (スタンダード、IV テキスト、フォト、sRGB、テレビ、シネマ、ゲーム、ネット) の総称です。

DV MODE ごとに「解像度判別」「超解像レベル」「ブロック N/R」「エリアコントラスト」「肌色検出」「シャープネス」「3次元 N/R」「ブライツネス」「D コントラスト」「CRO」「黒白伸張」「色のこさ」「色あい」「オーバードライブ」をお好みに調節でき、また、調節した値を保存できます。

■ DV MODE スキップ設定

使用しない DV MODE をスキップ設定することで、リモコンでの DV MODE 切替の際、選択したい DV MODE を容易に選択できるようになります。

<スキップ設定のしかた>

- ① フロントボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定したい DV MODE を選択します。
- ② スキップ設定したい DV MODE にカーソルが表示されている状態で、リモコンの「SELECT」ボタンを押します。
- ③ 選択した DV MODE にスキップアイコンが表示され、スキップ設定が有効になります。

<スキップ設定の解除のしかた>

- ① フロントボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定を解除したい DV MODE を選択します。
- ② スキップ設定を解除したい DV MODE にカーソルが表示されている状態で、リモコンの「SELECT」ボタンを押します。
- ③ 選択した DV MODE のスキップアイコンが消え、スキップ設定が解除されます。

■ 解像度判別

入力される映像の解像度に応じて、超解像レベル、ブロック N/R、エリアコントラスト、肌色検出の効果を適用できます。

オート : 自動で入力映像の解像度を判別し、判別した解像度に応じた効果を適用します。

HD : 高解像度の映像に適した効果を適用します。

SD : 中解像度の映像に適した効果を適用します。

LD : ストリーム動画コンテンツなど、低解像度の映像に適した効果を適用します。

よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D映像

機能

困った

付録

用語

いさく

■ 超解像レベル

静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換、美しい映像をご覧ください。
調節バー (0 ~ 100) が表示されます。10ステップの10レベルが調節可能です。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みに応じて調節してください。

お知らせ

- 超解像技術の効果は入力画像の種類や解像度によって異なります。
コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。

- 肌色検出の設定によって、効果を適用する範囲が変わります。

肌色検出がオフのとき：

画面全体に同じレベルの超解像効果が適用されます。
画面全体に同じレベルの超解像効果を適用したい場合には、肌色検出をオフに設定してください。

肌色検出がオンのとき：

肌色の部分に対しての超解像効果が弱くなります。人肌のしわなどは強調せず、それ以外の映像部分に対してのみ超解像効果を適用したい場合には、肌色検出をオンに設定してください。

■ ブロック N/R (ブロックノイズリダクション)

MPEG2 方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG 方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

お知らせ

- 効果を強くかけすぎると、全体がぼやけた映像になります。
- 解像度判別の設定によって、効果の程度が変化します。
HD < SD < LD の順に効果が強くなります (ブロックノイズが低減します。)

- 肌色検出の設定によって、効果を適用する範囲が変わります。

肌色検出がオフのとき：

画面全体にブロック N/R の効果が適用されます。
画面全体のブロックノイズを除去したい場合には、肌色検出をオフに設定してください。

肌色検出がオンのとき：

肌色と検出された映像部分にのみブロック N/R の効果が適用されます。肌色部分だけを滑らかにし、それ以外の映像はくっきりと表示したい場合には、肌色検出をオンに設定してください。

■ エリアコントラスト

明るい部分と暗い部分が混在している場合でも、明るい部分、暗い部分、それぞれの部分に対してコントラスト感を改善することができます。

D コントラスト (→ P36) と併用することで、全体のコントラスト感を上げながら、映像の細部もしっかり表現することができます。

動作例：

【画面全体が明るい映像の場合】

D コントラストだけでは、明るい部分のコントラスト感は向上しますが、暗い部分の映像の鮮明さが弱くなります。エリアコントラストを動作させることにより、暗い部分のコントラスト感を改善します。

【画面全体が暗い映像の場合】

D コントラストだけでは、暗い部分のコントラスト感

向上しますが、明るい部分の映像の鮮明さが弱くなります。エリアコントラストを動作させることにより、明るい部分のコントラスト感を改善します。

お知らせ

- 解像度判別の設定によって、効果の程度が変化します。
(効果大) LD > SD > HD (効果小)
- 肌色検出の設定とは連動していません。

■ 肌色検出

映像中の肌色部分を検出し、「超解像レベル」「ブロック N/R」の効果の適用範囲を変えます。

お知らせ

- 検出された肌色部分に対する効果のかかり方は、「超解像レベル」「ブロック N/R」で異なります。

肌色検出がオンのとき、「超解像レベル」は肌色部分に対して効果が弱くなります。肌色以外の部分に対しては、肌色検出がオフのときと同じ「超解像レベル」効果が適用されます。

肌色検出がオンのとき、「ブロック N/R」は肌色以外の部分に対して効果が弱くなります。肌色部分に対しては、肌色検出がオフのときと同じ「ブロック N/R」効果が適用されます。

【超解像レベル】

肌色検出がオフのとき：

画面全体に超解像効果が適用されます。

肌色検出がオンのとき：

肌色の部分に対しての超解像効果が弱くなります。人肌のしわなどは強調せず、それ以外の映像部分に対してのみ超解像効果を適用することができます。

【ブロック N/R】

肌色検出がオフのとき：

画面全体にブロック N/R が適用されます。ブロックノイズ除去を目的として使用される場合は、肌色検出をオフに設定してください。

※肌色検出をオンにすると、肌色以外の領域に対するブロックノイズ除去の効果がなくなります。

肌色検出がオンのとき：

肌色の部分に対してのみノイズリダクション効果が適用され、肌色以外の領域にはノイズリダクション効果が適用されなくなります。人肌がなめらかに表現され、それ以外の映像部分はくっきりと表現されます。

■ シャープネス

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、文字や画像のキレをお好みに応じて調節してください。

■ 3次元 N/R (3次元ノイズリダクション)

映像の細かいざらつき (モスキートノイズ) を低減します。

オフ：3次元 N/R の機能をオフにします。

弱：3次元 N/R の効果を弱くかけます。

強：3次元 N/R の効果を強くかけます。

お知らせ

- 3次元 N/R をかけると、細部がぼやける傾向があります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために...
使用上のお願い
各部分の大きさ
使用の準備
3D映像を見る
機能
困ったとき
付録
用語解説
いさく

■ ブライツネス

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みの明るさに調節してください。

■ D コントラスト (ダイナミックコントラスト)

コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。

お知らせ

- DV MODE で「フォト」「sRGB」を選択しているときは、D コントラストが使用できません。

■ CRO

CRO (コントラストレシオオプティマイザー) 機能をオン/オフします。

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。

画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

お知らせ

DV MODE で「フォト」「sRGB」を選択しているときは、CRO が使用できません。

■ 黒白伸張

入力映像に対して、黒白伸張をおこなうかどうかを選択します。

オン: ゲーム機器や DVD プレーヤーの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張されます。

オフ: コンピューターの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張はおこないません。

お知らせ

- 映像が黒浮きしているような場合は、「オン」を選択してください。
- 映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合は、「オフ」を選択してください。
- DV MODE で「IV テキスト」「フォト」「sRGB」を選択しているときは、黒白伸張が使用できません。

■ 色のこさ

お好みに応じて画面の色のこさを調節できます。

値を大きくすると、色がこくなります。

お知らせ

- DV MODE で「IV テキスト」「sRGB」を選択しているときは、色のこさが使用できません。

■ 色あい

お好みに応じて画面の色あいを調節できます。

値を大きくすると、肌色が緑がかります。値を小さくすると、肌色が紫がかります。

お知らせ

- DV MODE で「IV テキスト」「sRGB」を選択しているときは、色あいが使用できません。

■ オーバードライブ

オーバードライブのレベルは「オフ」「モード 1」「モード 2」から、お好みの画面状態になるように選択してください。動きの早い映像でも、ぼやけ感を抑制します。

オフ: 切

モード 1: 弱

モード 2: 強

お知らせ

- 映像に色飛び等が発生する場合は、「モード 1」または「オフ」に設定してください。
- オーバードライブが「オン」(「モード 1」または「モード 2」) の場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。その場合は、オーバードライブを「オフ」にしてください。

■ オートコントラスト

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。

コントラストを自動調節します。

自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」
→ P25 をごらんください。

■ コントラスト

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みのコントラストに調節してください。

■ ブラックレベル

黒レベルを手動調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。

■ リセット

現在選択している DV MODE ページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

サイズ位置



■ 自動調節

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」→ P25 をごらんください。

■ 水平位置

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右方向の表示位置を調節してください。

お知らせ

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D端子」のときは、オーバースキャン動作時 (100%フル以外) に使用できます。

■ 垂直位置

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、上下方向の表示位置を調節してください。

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D端子」のときは、オーバースキャン動作時 (100%フル以外) に使用できます。

■ 水平サイズ

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節します。

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、水平サイズを調節してください。

■ 位相

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。

画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合に調節します。
調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、位相を調節してください。

■ 画面サイズ

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。
オーバースキャン動作時は、選択された画面サイズに対してオーバースキャン表示をします。

フル : 入力映像信号を画面全体に拡大します。
アスペクト比 (縦横比率) が 16 : 9 以外の信号が入力された場合、アスペクト比が変わります。

アスペクト : 入力映像信号のアスペクト比を保持したまま、できるだけ画面いっぱいに映像信号を拡大します。

このため、入力される映像信号によっては、表示画面の縦または横方向に黒帯ができません。

2xズーム : 入力映像信号の解像度を縦横 2 倍に拡大表示します。

縦横 2 倍拡大できない映像信号が入力された場合は、「リアル」と同じ動作となります。

リアル : 入力映像信号の解像度のままで表示します。(画面は拡大されません。)

もくじ
ご使用前に
安全のために...
使用上のお願
各部分の
使用準備
3D映像
機能
困った
とき
付録
用語
いさく

■ アスペクト比

HDMI1 / HDMI2 / D 端子入力、D1 / D2 の映像信号が入力されたときのみ有効です。

「アスペクト」「2xズーム」「リアル」でアスペクト比が保持されていないときに調節します。「自動」を手動設定で「4:3」「16:9」に切替えてください。

自動 : NTSC4:3 と NTSC スクイーズの映像信号を自動で真円になるように調節します。

16:9 : 画面を垂直方向に 0.84 倍、縮小します。NTSC スクイーズの映像信号が真円になります。その他の映像信号では円が縦につぶれます。



NTSCスクイーズの映像信号 → NTSCスクイーズの映像信号を16:9で調節した画面

4:3 : 画面を垂直方向に 1.125 倍、拡大します。NTSC4:3 の映像信号が真円になります。その他の映像信号では円が横につぶれます。



NTSC4:3の映像信号 → NTSC4:3の映像信号を4:3で調節した画面

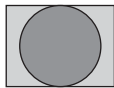
ポータブル : D 端子入力の場合のみ有効です。携帯用ゲーム機器から出力された 720 × 480 の映像信号が、自動的にフルスクリーンでディスプレイに表示されます。

■ オーバースキャン

オーバースキャン率を設定します。AV 信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

100% / フル :

入力された映像をそのまま表示します。画面サイズ → **P37** で選択されたサイズに対してフル表示します。入力される映像によっては、画面の外周部にノイズが見えることがあります。



NTSC4:3の映像信号をオートで調節した画面

98% :

入力された映像の周囲をカットし、元映像の 98% を表示します。「100% / フル」の設定で画面の外周部にノイズが見える場合は、「98%」を選択してください。画面サイズ → **P37** で選択されたサイズに対して周囲をカットし、98% 表示します。



98%で調節された画面のイメージ

95% :

98% と同じように 95% で表示します。

93% :

98% と同じように 93% で表示します。

お知らせ

- D-SUB/DVI-D/HDMI の PC タイミングではオーバースキャンは使用できません。
- 「3D」表示しているときは、オーバースキャンできません。
- 「オーバースキャン」を「100% / フル」以外に設定すると、画面位置が調節できるようになります。
- 「スルーモード」を「オン」に設定すると、「オーバースキャン」は「100% / フル」になります。

■ スルーモード

ディスプレイ内部の映像信号の遅延時間を短縮するモードです。映像と音声のズレが気になる場合にご使用ください。

お知らせ

- 「スルーモード」は、画像処理の機能を制限することで、遅延時間短縮を実現しています。このため、色調節など、いくつかの機能が使用できなくなります。また、映像の種類によっては、階調のなめらかさが損なわれるなど、画質が低下する場合があります。
- 「スルーモード」を使用しても、映像と音声完全に同期しない場合があります。
- 静止画での使用の場合は、「スルーモード」をオフで使用することをおすすめします。
- 「スルーモード」をオンにすると子画面はオフされます。
- 「スルーモード」をオンにすると画面サイズは「アスペクト」になります。
- HDMI、D 端子入力の場合は、「スルーモード」をオンにすると、オーバースキャンは FULL (100%) になります。
- 480i や 1080i の信号が入力されているときに「スルーモード」をオンにすると、コンテンツによってはちらつきが発生する場合があります。
- 入力される映像信号の垂直周波数 (リフレッシュレート) が 60 Hz 以外の場合、「スルーモード」をオンにすると画面が乱れる場合があります。 → **P52**

■ 解像度切替

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。

「1024 × 768」、「1280 × 768」、「1280 × 1024」、「1360 × 768」、「1400 × 1050」、「1680 × 1050」の入力信号の解像度を、手動にて直接指定することができます。

上記の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。

その場合、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

お知らせ

- OSD 上に表示されている解像度以外の信号 (例 : 640 × 480) が入力された場合、本機能は機能しません。

■ リセット

サイズ位置のページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

よく使う

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語説明

いさく

カラー



■ 色温度

お好みに応じて画面の色温度を5つのモードから選択できます。

モードの種類

NATIVE : 液晶パネル本来の色温度で表示します。
(調節できません)

1/10000K : 色温度 10000K で表示します。

2/9300K : 色温度 9300K で表示します。

3/6500K : 色温度 6500K で表示します。

4/5000K : 色温度 5000K で表示します。

■ RED (赤色)、GREEN (緑色)、BLUE (青色)

それぞれの色を個別に調節することにより、色温度をお好みに調節できます。

調節すると色温度の表示がUSERに変わります。ここでの調節はリセットで戻すことができます。

■ リセット

現在選択しているカラーモードのページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

音声



■ 高音

本体の「<」 「>」 ボタンまたはリモコンの「<」 「>」 ボタンを押して、高音域の音量を調節します。

■ 低音

本体の「<」 「>」 ボタンまたはリモコンの「<」 「>」 ボタンを押して、低音域の音量を調節します。

■ バランス

本体の「<」 「>」 ボタンまたはリモコンの「<<」 「>>」 ボタンを押して、左右の音のバランスを調節します。<方向に動かすと左の音声が大きくなり、>方向に動かすと右の音声が大きくなります。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願

各部のた

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

解用説

いさく

■ 音量

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、音量を調節します。

お知らせ

- 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応していません。

■ 消音

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、消音機能をオン／オフします。
リモコンで消音オンにするとアイコンが約 3 秒表示され、消えます。
解除するには、消音オフにするか、リモコンの「消音」ボタン、または「音量」ボタンを押してください。

■ 音声選択

表示中の映像に関係なく、他の入力の音声を選択できます。

親画面連動：

親画面の映像入力が切替わると、連動して音声入力も切替わります。

子画面連動：

子画面の映像入力が切替わると、連動して音声入力も切替わります。子画面が表示されていない場合は、親画面の音声入りに切替わります。

PC、HDMI1、HDMI2、D 端子：

お好みの音声入力を選ぶことができます。また、映像入力を切替えても音声入力は切替わりません。

お知らせ

- 親画面または子画面入力が HDMI1 のときは、「HDMI2」を選択しても、HDMI2 の音声は出力されません。
- 親画面または子画面入力が HDMI2 のときは、「HDMI1」を選択しても、HDMI1 の音声は出力されません。
- HDMI の音声を選択したとき、すぐに音声が出力されない場合があります。

組み合わせ (○：音声が出る組み合わせ ×：音声が出ない組み合わせ)

表示画面	DVI-D/ D-SUB	HDMI1	HDMI2	D 端子
音声選択				
親画面連動	○	○	○	○
子画面連動	○	○	○	○
PC	○	○	○	○
HDMI1	○	○	×	○
HDMI2	○	×	○	○
D 端子	○	○	○	○

よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D映像

機能

困った

付録

用語

いさく

2画面



■ 子画面選択

子画面に表示させたい映像入力を選択します。
オフを選択すると子画面は消えます。

2画面表示可能な、親画面と子画面の組み合わせ

親画面 \ 子画面	DVI-D	D-SUB	HDMI1	HDMI2	D端子
DVI-D		○	○	○	○
D-SUB	○		○	○	×
HDMI1	○	○		×	○
HDMI2	○	○	×		○
D端子	○	×	○	○	

お知らせ

- 子画面の音声を出力させたい場合は、OSD機能の「音声」の「音声選択」→ P40 を「子画面連動」に設定してください。
- 映像信号の垂直周波数が 60 Hz 以外の場合、2画面表示できない場合があります。
- 「サイズ位置」の「画面サイズ」「アスペクト比」「オーバースキャン」の設定によっては、2画面表示できない場合があります。
- スルーモードがオンのときは、2画面表示はできません。
- 親画面で「3D」表示しているときは、2画面表示できません。
- 子画面には「3D」表示できません。

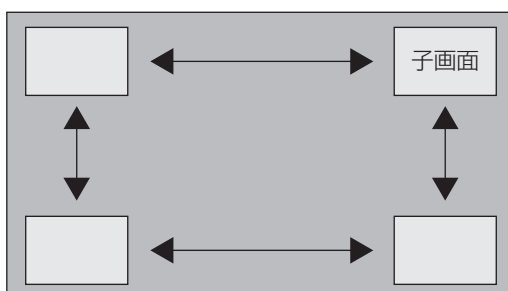
■ 子画面サイズ

子画面の大きさを設定します。映像信号の種類によって、適切な縦横比で、子画面表示します。

サイズ \ 映像信号	4 : 3	5 : 4	16 : 9
小	320 × 240	400 × 240	426 × 240
中	480 × 360	450 × 360	640 × 360
大	680 × 510	638 × 510	906 × 510





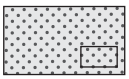
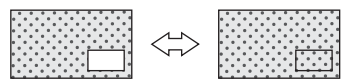
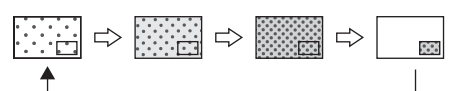
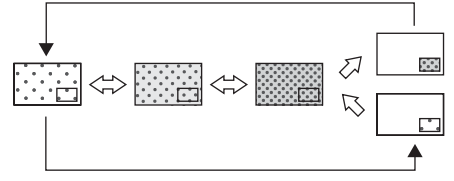
■ 子画面位置

右上、右下、左下、左上から選べます。



もくじ
ご使用の前に
安全のために...
使用上のお願ひ
各部のはたらき
使用の準備
3D映像を見る
機能
困ったとき
付録
用語解説
いさく

■ 超解像モード

<p>画面の状態</p> <p>子画面が表示されていないとき</p> 	<p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンは無効です。</p>	
<p>画面の状態</p> <p>子画面が表示されていて、親画面の「超解像」が「0 (オフ)」のとき</p> 	<p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13</p> <p>子画面内の「超解像」がオン→オフ→オンのように切替わります。オンのときの子画面内の超解像効果は、「レベル」で設定したレベルになります。</p>	<p>リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13 または OSD 画面の「映像モード」で「超解像レベル」を設定したとき → P35</p> <p>親画面の「超解像」を設定した時点では、子画面には「超解像」は適用されません。</p>  <p>上記の状態からリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、親画面で設定した「超解像」と同じ設定が子画面に適用されます。</p> 
<p>画面の状態</p> <p>親画面と子画面の「超解像」がオンのとき (このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。)</p> 	<p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13</p> <p>子画面の「超解像」は、オフになります。さらに続けてリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、子画面には親画面で設定した「超解像」と同じ設定が適用されます。</p> 	<p>リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13 または OSD 画面の「映像モード」で「超解像レベル」を設定したとき → P35</p> <p>リモコンの場合は、「10」→「20」→…→「100」→「0 (オフ)」の順で、OSD メニューの場合は、「10」⇔「20」⇔…⇔「100」の順で親画面の「超解像」の設定が切替わります。このとき子画面は、親画面の「超解像」設定が「0 (オフ)」のとき以外は、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されます。なお、親画面の「超解像」設定を「0 (オフ)」にしたとき、子画面には親画面の「超解像」設定が「0 (オフ)」になる直前の「超解像」の設定が保持されます。</p> <p>リモコンで「超解像」を設定したとき</p>  <p>OSD メニューで「超解像」を設定したとき</p> 

よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D映像


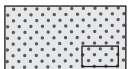
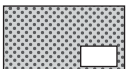
機能

困った

付録

用語

いさく

画面の状態	リモコンの子画面「親子切替」ボタンを押したとき → P13																								
親画面と子画面の「超解像」がオンのとき (このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。) 	親子切替をおこなうと、子画面と親画面が入替わって表示されます。 このとき親画面は、その映像入力において親画面用に設定した「超解像」の設定になります。 また、このとき子画面の「超解像」は、オフになります。 <例>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>親画面</th> <th>子画面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力</td> <td>D-SUB</td> <td>DVI-D</td> </tr> <tr> <td>超解像設定</td> <td>30</td> <td>親画面に追従 (30)</td> </tr> </tbody> </table>			親画面	子画面	入力	D-SUB	DVI-D	超解像設定	30	親画面に追従 (30)	親子切替	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>親画面</th> <th>子画面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力</td> <td>DVI-D</td> <td>D-SUB</td> </tr> <tr> <td>超解像設定</td> <td>50 * DVI-D 入力に対する OSD メニューでの設定になります</td> <td>オフ</td> </tr> </tbody> </table>			親画面	子画面	入力	DVI-D	D-SUB	超解像設定	50 * DVI-D 入力に対する OSD メニューでの設定になります	オフ		
	親画面	子画面																							
入力	D-SUB	DVI-D																							
超解像設定	30	親画面に追従 (30)																							
	親画面	子画面																							
入力	DVI-D	D-SUB																							
超解像設定	50 * DVI-D 入力に対する OSD メニューでの設定になります	オフ																							
																									

お知らせ

- 親画面と子画面の「親子切替」は、本体の OSD 画面ではできません。リモコンの「親子切替」ボタンでのみ操作できます。

目次

ご使用前に

安全のために…

使用上のお願い

各部分の名称

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

ツール

ツール画面



ECO PROF. 詳細ページ



ECO PROF.

ECO Professional 機能とは省エネに配慮した下記の機能の総称です。

本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すと右上図のページに切替わり、下記の項目が調節できます。

ECO PROF. 詳細ページから戻するには、本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU / EXIT」ボタンを押します。

ECO 設定

「オフ」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

オフ：省エネモード設定を解除します。

小：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 4 W (*) 削減します。

中：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 11 W (*) 削減します。

大：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 15 W (*) 削減します。

お知らせ

- 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
- (*) マーク説明：
画面全体の平均輝度が 75%以上の状態において ECO 設定「オフ」にした状態との比較値です。
(当社測定結果による)
- 3D 映像対応レコーダー / プレーヤーや 3D 映像対応ゲーム機で 3D 映像を視聴する場合、「小」「中」「大」の設定はできませんが、機能は動きません。

ECO メーター表示

現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

オフ：ECO メーターは表示しません。

オン：画面右下に ECO メーターを表示します。

お知らせ

- 省エネ電力値：ECO 設定の動作時や画面の明るさ (ブライトネス) を暗くしたときに得られる電力削減値です。

ECO メーターシースルー

ECO メーターの表示透過率を調節します。

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、ECO メーターの表示透過率をお好みの状態に調節してください。

電源自動オフ

信号入力がない場合の自動電源オフモードの設定をします。

オフ：自動電源オフしません。

オン：信号入力が無くなってから約 30 分後に電源オフします。

お知らせ

- 本機能動作後は、電源オフされているため、再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

オフタイマー

「15 分」「30 分」「60 分」「90 分」「120 分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源をオフすることができます。

省エネ電力量リセット

「YES」を選択すると、ECO PROF. 詳細ページに表示している省エネ電力量と省エネ率表示値および CO₂ 削減量がゼロにリセットされます。

お知らせ

- 省エネ電力量と省エネ率表示値は 5 年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。
- 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値および CO₂ 削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをおすすめします。

安全のために...
ご使用の前に
お願いの
各部の
はたらき
使用の
準備
3D 映像
を見る
機能
困った
とき
付録
解用
説語
いさ
んく

◆ 省エネ電力量 (表示のみ)

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率および CO₂ 削減量を OSD 画面上に表示します。

省エネ電力量 : ご使用を始めて (またはリセットした時点) から現在までに得られた省エネ電力量を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネジメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「***.*** kWh」で表示します。なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。

省エネ率 : 省エネ電力量の削減効果を「* %」で表示します。表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。

CO₂ 削減量 : 省エネ電力量を CO₂ 削減量に換算した値を「** kg」で表示します。

お知らせ

- CO₂ 削減量は、1 kWh=0.4 kg (「各国における発電部門の CO₂ 排出原単位の推計報告書 -Ver.3 (2006.6Revised)-」(JEMA) より) を用いて算出。

■ 言語 (LANGUAGE)

OSD 画面の表示言語を切替えます。日本語と英語 (English) が選択できます。

■ LED ブライトネス

調節バー (0 ~ 100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、電源ランプをお好みの明るさに調節してください。

■ PC 入力自動切替

信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。選択されているコネクタは OSD 画面「情報」の「入力信号」で確認できます。

オン : 現在表示しているコネクタからの入力信号がなくなったとき、他のコネクタから信号を入力している場合は表示を自動的に切替えます。

オフ : 入力信号の表示の自動切替をおこないません。

お知らせ

- PC 接続 (DVI-D および D-SUB 接続) にのみ対応しています。
- 変換ケーブルや変換コネクタなどを使用して、HDMI1、HDMI2 端子に PC 信号を入力することが可能ですが、これらの入力に対して入力自動切替機能は機能しません。この場合は、本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して、入力を切替えてください。

■ DDC/CI

DDC/CI → P60 通信による各種操作を制限する機能です。DDC/CI 通信をオン/オフします。

■ 操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐための OSD 画面操作禁止機能です。操作ロック中でもブライトネスと音量は調節可能です。ロックの設定/解除の操作は、リモコンではできません。以下の手順にしたがって、本体のボタンで操作してください。

ロックの設定

OSD 画面を表示し、「ツール」の「操作ロック」が選択されている状態で本体の「▶」ボタンを押しながら「INPUT / EXIT」ボタンを押すとロックが完了します。

ロックの解除

「操作ロック」の OSD を表示させ再び本体の「▶」ボタンを押しながら「INPUT / EXIT」ボタンを押すと操作ロックは解除されます

お知らせ

- ロック中でも、リモコン操作は可能です。
- ロック中は、本体ボタンでの入力切替、電源オン/オフ、「◀」「▶」ボタン (ホットキー) によるブライトネスと音量の調節ができる状態になります。

■ サイドカラー

画面サイズでアスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節します。

R、G、B の中から色を選択し、それぞれの色を調節します。

■ OSD 水平位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 垂直位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 表示時間

メニュー

OSD 画面を表示させた後、OSD 画面が自動的に消える時間を設定する機能です。

10 秒から 120 秒まで、5 秒ごとの設定が可能です。

インフォメーション

案内画面、注意画面の表示時間を設定します。設定された時間になると、案内画面が自動的に消えます。

1 秒から 10 秒まで、1 秒ごとの設定が可能です。

「オフ」に設定すると、案内画面、注意画面は表示されなくなります。

■ オールリセット

「映像モード」、「サイズ位置」、「カラー」、「音声」、「2 画面」、「ツール」の各設定を工場出荷状態に戻します。

お知らせ

- ECO PROF. の省エネ電力量と省エネ率および CO₂ 削減量はリセットされません。リセットしたい場合は、ECO PROF. の「省エネ電力量リセット」を実行してください。
- 言語切替はリセットされません。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のた

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

解用説

いさく

3D



よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D映像

機能

困った

付録

解説

いさく

■ 3D モード設定

3D 映像のモードを切替えます。「自動判別」「マニュアル」「3D → 2D」「2D → 3D」の中から 3D モードを選択します。また、「マニュアル」を選択した場合、「サイドバイサイド」または「トップアンドボトム」を選択します。

自動判別 : HDMI1.4 対応機器を HDMI 入力端子に接続した場合、自動的に入力される映像の 3D フォーマットを判別して 3D 映像を表示します。HDMI1.4 対応機器と接続していない場合は、入力される映像がそのまま表示されます。ラインバイライン方式のときもこのモードを選択します。この場合、入力解像度が 1920 × 1080 以外の場合は、画面サイズを「リアル」モードにする必要があります。

マニュアル : このモードを選択した場合、「サイドバイサイド」または「トップアンドボトム」のどちらかを選択可能となります。入力される 3D フォーマットに合わせて切替えてください。

■ 3D フォーマット

サイドバイサイド : 入力される 3D 映像がサイドバイサイド方式のときに選択します。

トップアンドボトム : 入力される 3D 映像がトップアンドボトム方式のときに選択します。

■ お知らせ

- HDMI1.4 対応機器を HDMI 入力端子に接続した場合 (3D 映像フォーマットを正しく判別できている場合)、「マニュアル」は選択できません。
- 「マニュアル」を選択した場合、OSD が表示されている間は 3D 映像は表示されません。3D 映像をすぐに表示させたい場合は、本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンで OSD を消してください。

3D → 2D : 3D フォーマットで入力される映像を、2D 映像 (通常映像) で表示します。

■ お知らせ

- 3D 映像が正しく表示されていないときに「3D → 2D」を選択した場合は、2D 映像が正しく表示されない場合があります。

■ お知らせ

- 3D 映像を視聴するには付属の 3D メガネが必要です。
- 3D 映像を視聴するときは、**P.8** の「3D 映像を視聴するときの注意」もよくお読みください。
- 3D 映像対応レコーダー / プレーヤーや 3D 映像対応ゲーム機からの 3D 映像を映す場合、レコーダー / プレーヤーやゲーム機側の 3D モード (「3D 設定方式」など) の切替えが必要な場合があります。くわしくは、レコーダー / プレーヤーやゲーム機の取扱説明書をご覧ください。
- コンピューターからの 3D 映像を映す場合、アプリケーション側の 3D モード (「3D 設定方式」など) の切替えが必要な場合があります。くわしくは、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

とくに、「マニュアル」において「サイドバイサイド」と「トップアンドボトム」の選択が正しくない場合は、2D 映像が正しく表示されませんので、「マニュアル」で正しく選択しなおしてください。

- ラインバイライン方式では 2D 映像で表示出来ません。
- 2D → 3D** : 入力される映像が 2D 映像 (通常映像) であっても、このモードを選択することにより擬似的に 3D 映像を視聴することができます。

■ 3D 奥行き調節

3D 映像の奥行き感を切替えて見やすくすることができます。調節バー (-6 ~ 6) が表示されます。13 ステップが調節可能です。- (マイナス) 方向に調整した場合、3D 映像が奥のほうに後退していきます。+ (プラス) 方向に調節した場合、3D 映像が手前方向に出てきます。本体の「<」 「>」ボタンまたはリモコンの「◀」 「▶」ボタンを押して、画面をお好みに応じて調節してください。

■ お知らせ

- 映像によっては、奥行き方向と手前方向が逆になる場合があります。
- 3D 映像モード以外のときは 3D 奥行きが使用できません。
- 3D 奥行き調節を - (マイナス) 側や + (プラス) 側の大きな値に設定した場合、目の疲れや体調不良が起こりやすくなる場合があります。このような場合は、奥行き調節を「0」に近い設定にしてください。
- 3D 奥行きを調節する場合、3D モードが「マニュアル」のときは OSD が表示されている間は 3D 映像は表示されません。3D 映像をすぐに表示させたい場合は、本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンで OSD を消してください。
- ラインバイライン方式では使用できません。

■ 左右画像切替

3D 映像の左右を反転させます。3D 映像の左右と 3D メガネの左右レンズが合っていない時に、3D 映像の左右を反転させて正しく表示します。**オフ** : 通常状態になります。**オン** : 左右を反転させます。

お知らせ

- 3D 映像に違和感を感じる場合は、オフとオンを切替えてみてください。違和感がより少ないほうが正しい設定となります。
- L/R 反転を設定する場合、3D モードが「マニュアル」のときは OSD が表示されている間は 3D 映像は表示されません。3D 映像をすぐに表示させたい場合は、本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンで OSD を消してください。
- ラインバイライン方式では使用できません。

■ リセット

3D ページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

本機が対応する 3D 映像フォーマット

フレームパッキング方式：

オリジナル解像度の画面を左右信号を含めてオリジナル解像度のまま伝送するフォーマット。

HDMI 1.4 対応機器は、このフォーマットを出力することが可能です。

本機の場合、表示される 3D 映像は垂直方向の解像度が 2 分の 1 になります。

サイドバイサイド方式：

オリジナル解像度を水平方向に 2 分の 1 とした左眼用映像データと右眼用映像データを 1 フレーム内の左右半分に配置するフォーマット。

本機の場合、表示される 3D 映像は垂直方向の解像度も 2 分の 1 になります。

トップアンドボトム方式：

オリジナル解像度を垂直方向に 2 分の 1 とした左眼用映像データと右眼用映像データを 1 フレーム内の上下半分に配置するフォーマット。

ラインバイライン方式：

オリジナル解像度を垂直方向に 2 分の 1 とした左眼用映像データと右眼用映像データを 1 フレーム内の 1 水平ラインごとに配置するフォーマット。

■ モニター情報

MODEL NAME (形名) と SERIAL No. (製造番号) が確認できます。

■ 入力信号

現在表示している入力チャンネルと信号情報が確認できます。

お知らせ

- 製造番号は本機の背面に貼り付けてある定格ラベルでも確認できます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願

各部は

使用の準備

3D 映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語説明

いさく

工場プリセットタイミング (PC 信号)

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやじみが生じることがあります。また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、自動調節 → P25 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0 kHz	66.7 Hz	Macintosh
832 × 624	49.7 kHz	74.5 Hz	Macintosh
720 × 400	31.5 kHz	70.1 Hz	
640 × 480	31.5 kHz	60.0 Hz	
640 × 480	37.9 kHz	72.8 Hz	
640 × 480	37.5 kHz	75.0 Hz	
800 × 600	35.2 kHz	56.3 Hz	
800 × 600	37.9 kHz	60.3 Hz	
800 × 600	48.1 kHz	72.2 Hz	
800 × 600	46.9 kHz	75.0 Hz	
1024 × 768	48.4 kHz	60.0 Hz	
1024 × 768	56.5 kHz	70.1 Hz	
1024 × 768	60.0 kHz	75.0 Hz	
1152 × 864	67.5 kHz	75.0 Hz	
1152 × 870	68.7 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280 × 960	74.8 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0 kHz	60.0 Hz	
1280 × 1024	80.0 kHz	75.0 Hz	
1680 × 1050	65.3 kHz	60.0 Hz	
1360 × 768	47.7 kHz	60.0 Hz	
1600 × 900	60.0 kHz	60.0 Hz	
1920 × 1080	66.6 kHz	59.9 Hz	(推奨タイミング : DVI-D、D-SUB)
1920 × 1080	33.7 kHz	59.9 Hz	1080i
1920 × 1080	67.5 kHz	59.9 Hz	1080p (推奨タイミング : HDMI)
1280 × 720	45.0 kHz	59.9 Hz	720p
720 × 480	31.5 kHz	59.9 Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなわれています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります (ユーザーメモリー機能)。記憶させたい信号を入力し、自動調節 → P25 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると、すべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数 : 31.5 ~ 82.3 kHz、垂直周波数 56 ~ 76 Hz 対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機の OSD 機能以外の機能について説明しています。

拡大・スモーキングファイン機能

1920 × 1080 より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play 機能

VESA の DDC (Display Data Channel) 2B 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能 (NTAA : No Touch Auto Adjust) (800×600 以上の解像度のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。

入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

- アナログ入力信号 (D-SUB 入力) のみ有効です。



NTAA 実行中画面

パワーマネジメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能は VESA DPM 対応パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネジメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	48 W	点灯
スリープモード時	1 W 以下 (AC100 V 時)	点滅

水平または垂直同期信号が OFF 状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号 (R, G, B) が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネジメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら

表示されないときは… このようなときは、チェックしてください。

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P11, 13
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12, 22
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	—
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
		電源自動オフを設定していませんか？ その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P44
	電源ランプが点灯している場合	「MENU/▽」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P32
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「映像モード」の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P36
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17～19, 48
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	—
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P56
電源ランプが点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P49	
	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17～19	
	変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17～19	
	コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	—	
	入力選択があっていない可能性があります。本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して入力切替をおこなってください。	P11, 13	
	突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになると、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 本体に接続されているすべてのケーブルを抜いて差し直してください。 新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用しているLEDバックライトには寿命があります。

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	電源ランプが点灯しない場合	オフタイマーが設定されている可能性があります。再度電源を入れてください。	P44
		電源自動オフ機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンして設定を確認してください。	P44
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面上に横方向の縞が見える	3Dメガネをかけた状態では横方向の縞が見えます。また、視力矯正メガネでも縞が見ることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	線の太さなどがぼやける	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。または、OSD 画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。アナログ接続の場合は、「自動調節」を実行すると軽減できる場合があります。	P25, 35, 48
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P23
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは LED バックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を切替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	P9, 61
	表示が横長に伸びている	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。または、OSD 画面により「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P37, 48
	OSD 画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	色あい、色のこさなどを調節したり、超解像モード、ダイナミックコントラストなどの機能をオンにすると OSD 画面表示状態に影響を与えます。映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	—
OSD が横長または縦長で表示される	3D モードで「マニュアル」を選択している場合などで、このように見えることがあります。仕様上の制約によるもので故障ではありません。	—	

もくじ
ご使用前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のほたらき
使用の準備
3D映像を見る
機能
困ったとき
付録
解用語
いさく

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P31
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「カラー」の「色温度」を調節するか、「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P39, 45
		● OSD 画面が正常に表示され、「カラー」の「色温度」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17～20, 48
		● ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P17～20
	● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	—	
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P17～20
画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P31	
	● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「サイズ位置」の「位相」を選択し、調節してください。	P37	
	● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17～20, 48	
	● 超解像オンの場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。超解像レベルを変更してください。	P35, 42	
● 上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。	—		
● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	—		
画面中央に境界線が出て左右で画質が異なるまたは、画面上下で画質が異なる	工場調整画面になっている可能性があります。「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P45	
「スルーモード」をオンにすると画面が乱れる	「スルーモード」をオフするかコンピューターの出力信号の垂直周波数（リフレッシュレート）を 60 Hz に設定してください。	P13, 38, 48	
3D 映像が正しく見えない	3D 映像にならない	3D モードの選択が正しくない可能性があります。3D モードを切替えてみてください。	P28
		OSD 画面や ECO メーター表示中は、選択される 3D モードによっては 3D 表示できない場合があります。OSD 画面や ECO メーターの表示をオフしてみてください。	P27
		3D 映像対応レコーダー/プレーヤーや 3D 映像対応ゲーム機からの 3D 映像を映す場合、レコーダー/プレーヤーやゲーム機側の 3D モード（「3D 設定方式」など）の切替えが必要な場合があります。（くわしくは、レコーダー/プレーヤーやゲーム機の取扱説明書をご覧ください。）	P28～29
		コンピューターからの 3D 映像を映す場合、アプリケーション側の 3D モード（「3D 設定方式」など）の切替えが必要な場合があります。（くわしくは、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。）	P29

よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D 映像

機能

困った

付録



用語

いさく

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
3D 映像が正しく見えない	3D 映像がおかしい	3D 映像の状態によっては、3D 映像を見ると違和感を感じることがあります。 「L ⇄ R」の設定を切替えて違和感がなくなるか確認してください。	P30, P46 ~ 47
		視認距離や位置が正しくない可能性があります。正しい視認距離や位置で視聴ください。	—

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※ ¹ 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P17 ~ 20
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	—
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P49
	HDCP 対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	—
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※ ² 	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P48
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度を変更してください。	—

※¹ コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※² コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	状態	原因と対処	参照
解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	—
	Windows [®] をご使用の場合は、Windows [®] セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。	Windows [®] セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P26
	Windows [®] セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows [®] 以外の OS をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	—

その他

症 状	状 態	原因と対処	参照
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認してください。	P20～21
	ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーからは音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P21
	音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。	リモコンで音量を調節するか、消音設定を解除してください。または、OSD画面の「音声」の「音量」で音量を調節するか、「消音」を「オフ」にしてください。	P13, 40
	「音声」の「音声選択」で表示入力と違う入力選ばれている可能性があります。	「音声」の「音声選択」を確認してください。	P40
AV機器の映像が何も映らない または、画面に「NO SIGNAL」が表示された	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒（5～30秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	P20
		入力選択があっていない可能性があります。 本体の「INPUT / EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して映像入力を切替えてください。	P11, 13
リモコンで操作できない、またはリモコンが効きにくい	リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。	新しい乾電池と交換してください。	P14
	リモコンの赤外線が届かない場所で操作している可能性があります。	画面に近づくか、より真正面に近い角度から操作してください。	P14
	リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります。	障害物を取り除いてください。	P14
	リモコン送信部または本機の受光部が汚れている可能性があります。	汚れを拭き取ってください。	—
	リモコンの乾電池の⊖ ⊕が逆に入っている可能性があります。	乾電池の向きを確認してください。	P14

よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

3D映像

機能

困った

付録

用語

いさく

本機を廃棄するには (リサイクルに関する情報)

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。


情報機器リサイクルセンター	
家庭系 (個人ユーザー様) の窓口	事業系 (法人ユーザー様) の窓口
フリーダイヤル ☎ 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間 土・日・祝日を除く 午前 9:00 ~ 午後 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、铭板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

“PCリサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ： www.pc-eco.jp 画面の  からお入りください。	ご注意： 法人 (事業者) のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願

各部の

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口 (携帯電話・PHS 通話可 / IP 電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS 通話可 / IP 電話不可)
フリーダイヤル ☎ 0120-71-3322	フリーダイヤル ☎ 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前 9:00 ~ 12:00 午後 1:00 ~ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。	
<ul style="list-style-type: none"> ● お名前 ● ご住所 (付近の目標など) ● 電話番号 ● 品名: 三菱ワイド液晶ディスプレイ ● 形名: RDT233WX-3D(BK) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造番号 (本機背面のラベルに記載) ● 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく) ● 使用状況 (PC およびグラフィックボード (メーカー、形名)、 解像度、入力信号 (アナログ、デジタル) など) ● 購入年月日または使用年数

- 無料出張サービス規定
この製品をお買い上げから 1 年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット (現品とは異なる場合があります。) を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
 1. お問い合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問い合わせ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

安全のため
 使用前の準備
 各部の
 使用の
 3D映像
 機能
 困った
 とき
 付録
 用語
 解説
 いさく

再梱包するとき

再梱包の際は、以下の状態にしてください。

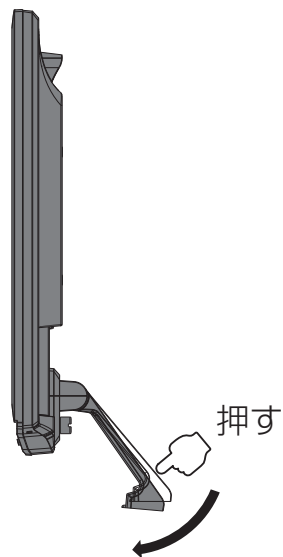
お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

1 本機の画面高さを一番高い位置に調節してください。→ P16

2 ベーススタンドを外してください。→ P16

3 ネックを下図の矢印の方向に止まるところまで押してください。



市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した (100 mm ピッチ) 市販のアームを取り付けることができます。

お願い

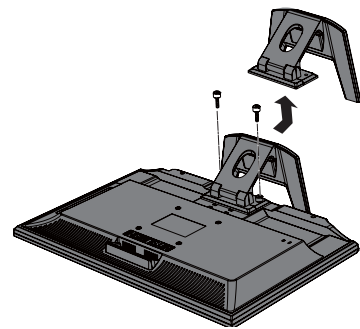
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。(本機のディスプレイ部の質量は約 3.9 kg です。)

お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■ アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外してください。その後、スタンドを固定している 2 本のネジを外してスタンドを取り外してください。→ P16



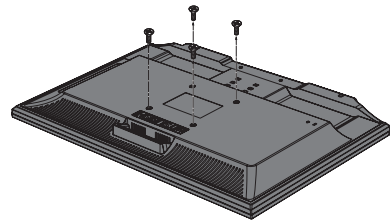
お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

2 アームを取付ける前に VESA 穴の 4 本の化粧用の皿ネジを取り外してください。

お願い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



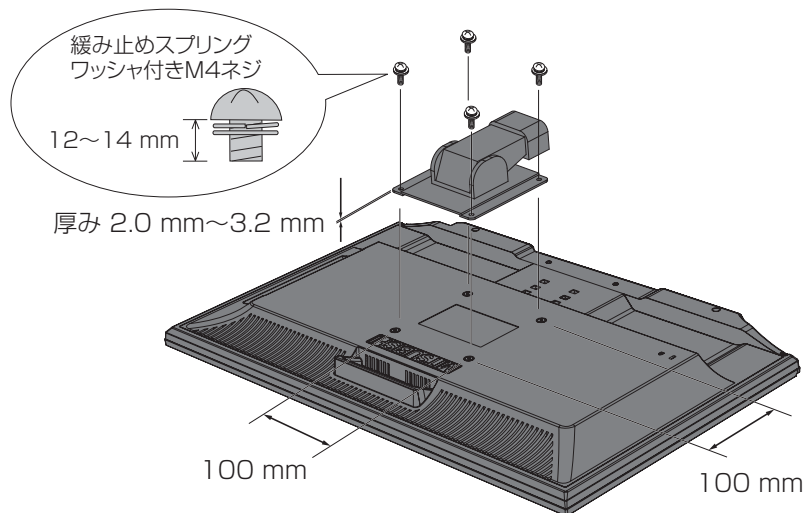
【VESA 穴ネジの取り外し】

3 右記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0 mm ~ 3.2 mm
VESA 規格準拠 100 mm ピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。(ただし、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ~ 137 N・cm が適切な締め付けトルクです。)



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

市販のアームを取り付けるとき (つづき)

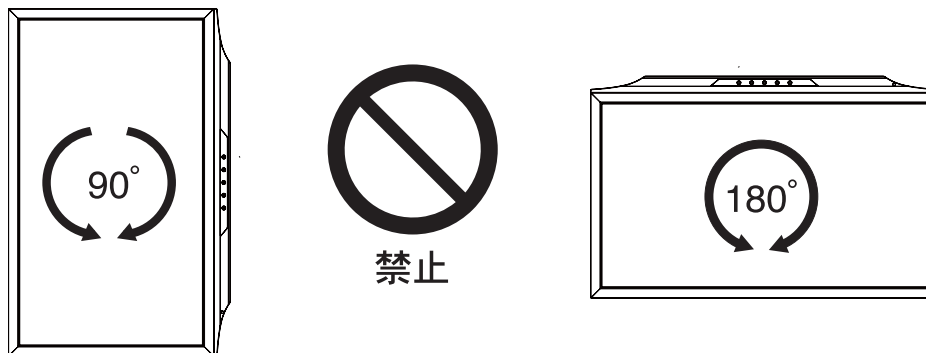
⚠ 注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ (長さ 12 ~ 14 mm)
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90° 回転や 180° 回転した状態でご使用しないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

3D映像を見る

機能

困ったとき

付録

用語解説

いさく

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2D → 3D P30、46

入力される映像が 2D 映像（通常映像）であっても、このモードを選択することにより擬似的に 3D 映像を表示する機能です。

3D → 2D P46

3D フォーマットで入力される映像を、2D 映像（通常映像）で表示する機能です。

3D L/R 反転 P30、46

3D 映像の左右を反転させる機能です。

3D 奥行き調節 P30、46

3D 映像の奥行き感を切替える機能です。

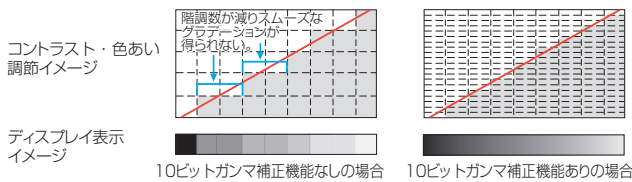
3次元N/R (3次元ノイズリダクション) P35

映像の細かいざらつき（モスキートノイズ）を低減します。

10ビットガンマ機能 P3

RGB 各色 256 階調の映像信号に、10 ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。

より高精度なコントラスト・色あい補正をおこなうことができます。きめ細かくなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度におこなうことができます。



CRO (Contrast Ratio Optimizer) P36

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P49

VESA が提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格 (Display Data Channel Command Interface) P45

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management) P49

VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dynamic Visual MODE) P13、34

表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能です。

DVI-A 端子 (Digital Visual Interface-Analog) P19

アナログ入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-D 端子 (Digital Visual Interface-Digital) P17~19

デジタル入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-I 端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P17~19

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子

です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

D コントラスト (Dynamic Contrast) P36

映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれがちになります。それを防ぐために、黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

D 端子 P12、21

DVD レコーダー/プレーヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を 1 本のケーブルで接続できます。本機には D5 映像端子が搭載されており、D1 から D5 までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525 本	480 本	インターレース
D2 (525p)	480p	525 本	480 本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125 本	1080 本	インターレース
D4 (750p)	720p	750 本	720 本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125 本	1080 本	プログレッシブ

GTG (Gray to Gray) P62

表示画面を変化させたときに、画面が切替わる早さ（追従性）を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度 (GTG) と表します。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) P62

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCP に対応した AV 機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) P17~20

DVD レコーダー/プレーヤーなどと接続できる AV 用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を 1 本のケーブルで接続できます。

HDMI 1.4 (High-Definition Multimedia Interface 1.4) P46

HDMI は AV 家電向けのインターフェイス規格であり、HDMI 1.4 規格の中には 3D 映像伝送に関する規格も含まれています。本機は、3D 映像伝送規格以外の HDMI 1.4 規格には対応していません。

LED ブライトネス P45

電源ランプの輝度を調節する機能です。

Plug&Play P49

Windows® で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格 P34、36

IEC(International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB 対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃え

安全のため...
使用上のお願い
各部は...
使用準備
3D映像を見る
機能
困ったとき
付録
用語解説
いさく

用語解説 (つづき)

ることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association)
P49

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P37
アナログ映像信号の A/D 変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

インターレース P60
1つの画面 (フレーム) を 1 ラインおきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

オーバースキャン P38
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。(はみ出した部分は、画面には表示されません。) 通常のテレビは、オーバースキャンの状態で調節されています。

輝度 P62
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P62
白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像信号 (YPbPr 信号) P21
映像信号を輝度信号 (Y) と、色系統信号 (赤系 (Pr)/ 青系 (Pb)) に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色にじみなどの画質の悪化を抑えることができます。

サイドカラー P45
アスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節する機能です。

サイドバイサイド方式 P47
オリジナル解像度を水平方向に 2 分の 1 とした左眼用映像データと右眼用映像データを 1 フレーム内の左右半分に配置するフォーマット。

サラウンド P39
聴覚の特性 (いわゆる錯覚) を利用してステレオ環境だけでも多チャンネルの音に囲まれるような音響効果を再現する技術です。

残像 P51
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P51、62
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角

度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることが出来ます。

水平周波数/垂直周波数 P48、62
水平周波数: 1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5 kHz の場合、1 秒間に走査線を 31,500 回表示するという事です。
垂直周波数: 1 秒間に画面を何回書替えているかを表します。垂直周波数が、60 Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回書替えているという事です。

超解像 P13、35、42
独自の画像処理アルゴリズムに基づき表示映像に含まれるぼやけ成分を推定し補正を加えることにより、従来のシャープネス回路では再現できなかったフォーカス感やディテール感を再現します。

チルト角度 P23、62
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度の事です。

トップアンドボトム方式 P47
オリジナル解像度を垂直方向に 2 分の 1 とした左眼用映像データと右眼用映像データを 1 フレーム内の上下半分に配置するフォーマット。

ノータッチオートアジャスト/NTAA (No Touch Auto Adjust) P49
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P49
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない (一定時間以上キー入力がないなど) 場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数/解像度 P48、62
一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

フレームパッキング方式 P47
オリジナル解像度の画面を左右信号を含めてオリジナル解像度そのまま伝送するフォーマット。
HDMI 1.4 対応機器は、このフォーマットを出力することが可能です。

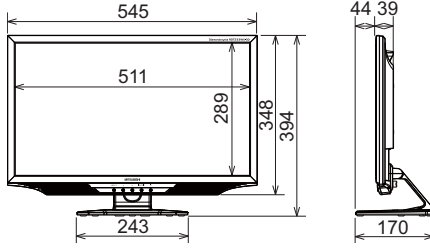
プログレッシブ P60
1つの画面 (フレーム) を 1 回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれます。インターレース方式に比べ、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

ブロック N/R (ブロックノイズリダクション) P35
MPEG2 方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG 方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

ラインバイライン方式 P47
オリジナル解像度を垂直方向に 2 分の 1 とした左眼用映像データと右眼用映像データを 1 フレーム内の 1 水平ラインごとに配置するフォーマット。

もくじ
ご使用の前に
安全のために...
使用上のお願ひ
各部のたらしき
使用の準備
3D映像を見る
機能
困ったとき
付録
解用語
いさく

仕様

形名	RDT233WX-3D(BK)		
外形寸法 (mm)			
液晶パネル	サイズ (表示サイズ)	23 型 (58.4cm)	
	液晶方式	IPS、ハーフグレア	
	有効表示領域	509.2 x 286.4mm	
	表示画素数	1920 x 1080	
	画素ピッチ	0.265mm	
	表示色	約 1677 万色 (約 10 億 6433 万色中)	
	視野角	左右 178°、上下 178° (コントラスト比 10)	
	視野角 (3D)	上下 12° (3D クロストーク 10% 以下)	
	輝度 (標準値)	250 cd/m ²	
	コントラスト比	5000 : 1 (CRO 非動作時 1000 : 1)	
応答速度	3.8 ms (GTG)* ¹		
バックライト	白色 LED		
PC 入力	水平周波数	31.5 ~ 82.3kHz	
	垂直周波数	56 ~ 76Hz	
	ビデオ信号	デジタル RGB、アナログ RGB	
	同期信号	デジタル入力 : TMDS アナログ入力 : セパレート同期信号 (TTL)	
信号入力コネクタ	デジタル入力 : DVI-D (HDCP 対応* ²)、HDMI (2 系統) アナログ入力 : ミニ D-SUB15 ピン		
ビデオ入力* ³	解像度	480i、480p、1080i、720p、1080p	
	信号入力コネクタ (HDMI は PC 入力コネクタと共用)	デジタル入力 : HDMI (2 系統) アナログ入力 : D5 端子	
音声入出力	入力コネクタ	φ 3.5mm ステレオミニジャック、RCA ピンジャック (L/R)	
	スピーカー	2 W + 2 W (ステレオ)	
	ヘッドホン	φ 3.5mm ステレオミニジャック	
適合規格等	安全	電気用品安全法、S-TÜV	
	不要輻射	VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン	
	エルゴノミクス	ISO13406-2 (準拠)	
	プラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	PC グリーンラベル (★★☆ 2011 年度版)、J-Moss グリーンマーク、DDC/CI、Windows [®] 7	
使用環境条件	温度	5 ~ 35℃	
	湿度	30 ~ 80% (結露の無いこと)	
電源	電源入力	AC100-240V、50/60Hz	
	消費電力	標準	48W
		省エネモード	スリープモード時 : 1W 以下 (AC 100 V 時) オフモード時 : 1W 以下 (AC 100 V 時)
	電源入力コネクタ	3P IEC タイプ	
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 4.4 kg
		スタンドなし	約 3.9 kg
キャビネット色	ブラック		
梱包状態 (質量/寸法)	約 6.3 kg / 600(W) x 520(H) x 150(D) mm		
チルト角度/スイーベル角度/高さ調節/縦型表示	上 20°、下 5°/機能なし/取付位置変更タイプ 3 段階 (1 段階 : 15mm) /機能なし		

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
 - 本機は、解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
 - 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
 - 付属の電源コードは、国内 100 V 商用電源対応品です。
 - 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
- *1 特定階調レベル間 (例 : 31, 63, 95, 127, 159, 191, 223) の各応答速度の平均値です。
 *2 Machintosh での HDCP 対応は非サポートです。
 *3 安定した表示ができない場合や非表示領域に不要な線が見える場合があります。

さくいん

英数字

2 画面 41
 3 次元 N/R 35,60
 BLUE 39
 CRO (コントラストリアライズ) 36,60
 D5 端子、D 端子 12,21,60
 DDC 2B 規格 49,60
 DDC/CI 45
 DDC/CI 規格 60
 DPM 49,60
 DVI-A 端子 19,60
 DVI-D / DVI-D ケーブル 4,17 ~ 19
 DVI-D 端子 17 ~ 19,60
 DVI-I 端子 17 ~ 19,60
 DV MODE 34,60
 DV MODE スキップ設定 34
 D コントラスト 36,60
 ECO PROF 27,44
 ECO 設定 27,44
 ECO メーターシースルー 27,44
 ECO メーター表示 27,44
 GREEN 39
 GTG 60,62
 HDCP 60,62
 HDMI 端子 4,12,18 ~ 20,60
 INPUT / EXIT ボタン 11
 LANGUAGE 45
 LED ブライトネス 45,60
 Macintosh 4,19,48
 MENU / マボタン 11
 MENU/EXIT ボタン 13
 NO SIGNAL 53,54
 NTA (No Touch Auto Adjust) 49,61
 OSD 画面の構成 31
 OSD 機能一覧 34 ~ 47
 OSD の基本操作 32
 OSD 垂直位置 45
 OSD 水平位置 45
 OSD 表示時間 45
 OUT OF RANGE 53
 PC 入力自動切替 45
 Plug & Play 49,60
 RED 39
 sRGB 規格 34,36,60
 VESA 規格 49,58,61
 Windows® セットアップ情報 26
 ◀、▶ ボタン 11
 ▲、◀、▼、▶ ボタン 13

あ

アースリード線 5,22
 アスペクト比 37
 アフターサービス 56
 安全のために必ずお守りください 5 ~ 8
 位相 37,61
 色あい 36
 色温度 39
 色のこさ 36
 インターレース 60,61
 映像モード 34
 エリアコントラスト 35
 オーディオケーブル 4,20 ~ 22
 オートコントラスト 36
 オーバースキャン 38,61
 オールリセット 45
 応答速度 60,62
 オフタイマー 44
 音声 39,40
 音声出力端子 12,20,21
 音声選択 40
 音量 40

か

外形寸法 62
 回収 55
 解像度 48,61,62
 解像度切替 38
 解像度判別 34
 拡大・スムージングファイン機能 49
 角度を調節する 23

各部のはたらき 11 ~ 14
 画素ピッチ 62
 画面サイズ 37
 画面に何も映らない 50
 カラー 39
 簡易表示機能 49
 ガンマ 3,60
 輝度 61,62
 グループアイコン 31
 グループの構成 33
 黒白伸張 36
 ケーブルホルダー 12,22
 言語 45
 高音 39
 工場プリセットタイミング (PC 信号) 48
 子画面位置 41
 子画面サイズ 41
 子画面選択 41
 黒点 / 輝点 51
 故障かな?と思ったら 50 ~ 54
 個人情報の取り扱い 56
 困ったとき 50 ~ 56
 コントラスト 36
 コントラスト比 61,62
 コンポーネント映像信号 (YPbPr 信号) 21,61

さ

再梱包するとき 57
 サイズ位置 37
 サイドカラー 45,61
 残像 9,51,61
 質量 62
 自動調節 25,37
 シネマモード 34
 市販のアームの取り付けるとき 58
 シャープネス 35
 視野角 51,61,62
 修理相談窓口 56
 仕様 62
 省エネ電力量 45
 省エネ電力量リセット 44
 消音 40
 使用環境条件 62
 使用上のお願い 9,10
 消費電力 49,62
 情報 47
 信号ケーブル 4,17 ~ 21
 信号ケーブルを接続する 17 ~ 21
 信号入力コネクタ 19,62
 推奨信号タイミング 48
 垂直位置 37
 垂直周波数 (リフレッシュレート) 48,61,62
 水平位置 37
 水平サイズ 37
 水平周波数 48,61,62
 スタンド 12,16,58
 スピーカーから音が出ない 54
 スリープモード 49
 スルーモード 38,52
 接続 17 ~ 21
 接続コネクタと信号ケーブル対応表 19
 設置する 23
 セットアップガイド 4
 操作ボタン 11
 操作ロック 45

た

ダイナミックコントラスト 36
 高さを調節する 16,17
 超解像 3,13,35,42,61
 超解像モード 42,43
 超解像レベル 35
 ちらつく 50 ~ 52
 チルト角度 23,61,62
 ツール 44
 低音 39
 適合規格等 62
 テストパターン 24
 電源コード 4,22
 電源自動オフ 44

電源スイッチ 11
 電源電圧 6,22
 電源入力コネクタ 12,22,62
 電源プラグ 22
 電源容量 22
 電源ランプ 11,49
 電源を入れる 11
 電源を接続する 22
 同期信号 48,62
 盗難防止用ロック穴 12

な

入力信号 47
 ノータッチオートアジャスト機能 49,61

は

廃棄する 55
 肌色検出 35
 バックライト 62
 バランス 39
 パワーマネージメント機能 49,61
 ビデオ信号 62
 表示色 51,52,62
 表示画素数 48,61,62
 表示されない 50 ~ 53
 表示状態がおかしい 51,52
 付属品 4
 ブライトネス 36
 ブラックレベル 36
 付録 57 ~ 63
 プログレッシブ 60,61
 ブロック N/R 35,61
 ヘッドホン端子 12,21
 ヘッドホンを接続する 21
 変換アダプター 17 ~ 19
 ポータブル 3,38
 保証書 4,56
 保証とアフターサービス 56
 ホットキー 11,45
 本体正面 11
 本体背面 / 側面 12

ま

ミニ D-SUB15 ピン 4,12,18,19
 モニター情報 47

や

ユーザーメモリー機能 48
 ユーティリティディスク 4,24,25
 有効表示領域 62
 用語解説 60,61

ら

リサイクル 55
 リセット (映像モード) 36
 リセット (カラー) 39
 リセット (サイズ位置) 38
 リモコン 13,14
 リモコン受光部 11
 ロックの解除 45
 ロックの設定 45

もくじ
 ご使用の前に
 安全のために
 使用上のお願い
 各部のはたらき
 使用の準備
 3D映像を見る
 機能
 困ったとき
 付録
 解説語
 いさく



京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1番地

AW-P1031C